自動追尾カメラシステム
ＰＣＳ－３５シリーズ
取扱説明書

Ikegami

安全に正しくお使いいただくために

ご使用の前にこの「安全に正しくお使いいただくために」と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後はいつでも見られる所に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

・お買い上げになった機器に当てはまらない注意事項もありますが、ご了承ください。

警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

安全上のご注意（必ずお守りください。）

⚠ 警告

使用上の注意

●本機のケース・裏パネル等をはずさない！
内部には高圧の部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店または営業所にご依頼ください。

●本機の上に水などの入った容器を置かない！
こぼれて中に入ると、火災・感電の原因になります。

●本機の上に小さな金属物を置かない！
中に入ると、火災・感電の原因となります。

●表示された電源電圧以外は使用しない！
火災・感電の原因となります。

●本機に水が入ったり、ぬらしたりしない！
火災・感電の原因になります。雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。

●本機の開口部から金属物や燃えやすいものなどの異物を差し込まない！落とし込まない！
火災・感電の原因となります。

●電源コードを傷つけない！加工しない！無理に曲げない！ねじらない！引っ張らない！加熱しない！
コードが破損して火災・感電の原因となります。

●本機を改造しない！
火災・感電の原因となります。

●風呂、シャワー室などの水場では使用しない！
火災・感電の原因となります。

●雷が鳴り出したら、同軸コネクタ／ケーブルや電源プラグに触れない！
感電の原因になります。

火災の原因となります。本機のACアウトレットが供給できる電力(W)はACアウトレット付近または取扱説明書に表示してあります。

安全上のご注意（必ずお守りください。）

設置について

●不安定な場所に置かない！
落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

●電源コードの上に重いものを置かない！本機の下敷きにしない！
コードが傷ついて、火災・感電の原因になります。コードの上を敷物などで覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

●水場に設置しない！
火災・感電の原因となります。

●指定された機器以外とは接続しない！
火災・感電の原因となります。

●本機の固定は工事専門業者に依頼を！
本機を固定する場合は、指定された方法できちんと固定しないと、落ちたり、倒れたりして、火災・感電・けがの原因になります。特に、壁や天井に固定する場合は、必ず工事専門業者にご依頼ください。なお、取付け費用については、販売店または営業所にご相談ください。

異常時の処理について

●煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して、 販売店または営業所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

●本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または営業所にご連絡ください。

●本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または営業所にご連絡ください。

安全上のご注意（必ずお守りください。）

異常時の処理について

●本機が故障した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または営業所に修理をご依頼ください。

●本機を落としたり、ケースが破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または営業所にご連絡ください。

●電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）場合は、交換を依頼する！
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または営業所に交換をご依頼ください。

使用上の注意

●本機に乗らない！
倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

●本機の上に重いものを置かない！
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。

●移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、プラグを抜き、機器間の接続ケーブルをはずす！
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●長期間使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く！
火災の原因となることがあります。

安全上のご注意（必ずお守りください。）

⚠ 注意

使用上の注意

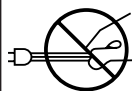
●レンズで太陽・照明などをのぞかない！
強い光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

設置について

●湿気やほこりの多い場所に置かない！
火災・感電の原因となることがあります。

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気が当たる場所に置かない！
火災・感電の原因となることがあります。

●本機の通風孔をふさがない！
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
本機を仰向けや横倒し、逆さまにする。風通しの悪い狭い所に押し込む。じゅうたんや布団の上に置く。テーブルやクロスなどを掛ける。

●電源コードを熱器具に近づけない！
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない！
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししない！
感電の原因となることがあります。

安全上のご注意（必ずお守りください。）

⚠ 注意

お手入れについて

●お手入れの際は安全のため、スイッチを切り電源プラグを抜く！
感電の原因となることがあります。

●１年に一度くらいは、 販売店または営業所に内部の掃除の相談を！
本機の内部にほこりがたまったまま使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店または営業所にご相談ください。

目　　次

ﾍﾟｰｼﾞ
１．　概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
２．　特長　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
３．　主要機器の各部の名称と機能　・・・・・　4
４．　接続のしかた　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
５．　操作のしかた　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
５．１　キーボードＬＣＤ画面による設定　・・・・・・・・・・・・・　１３
５．２　システムセットアップのモニタ画面による設定　　・・・・・　１４
５．３　監　視
１）　監視状態　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０
２）　警報状態　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３１
５．４　操　作
１）プリセットＮｏ呼出し　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３２
２）カメラＣＨ選択　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３６
３）機能モード（デジタルレコーダの操作）　・・・・・・・・・・・・３８
４）他局操作とロック・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９
６．　キーボード画面遷移　・・・・・・・・・・・・・４０
７．　トラブルシューティング　・・・・・・・・・・４２
８．　仕　　様　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４３
９．　保証とアフターサービス・・・・・・・・・・・４４
10．　外観図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４５

取扱い上の注意事項

- むやみにケースを開けないで下さい。
- 周囲温度は定格内、湿度は８０％以下の非結露の場所でご使用ください。
- 強い衝撃や振動はキズや故障の原因になりますので、取扱いにご注意下さい。
- 直射日光や暖房等の強い熱のあたる場所には設置しないで下さい。
- 強力な磁界や強い電波のある場所には設置しないで下さい。
- 本装置をラジオ、テレビ等の無線機に隣接して設置されますと、受信障害の原因となる場合があります。

※本システムで使用する他のカメラ、周辺機器の詳細は個々の取扱説明書をご覧下さい。

１． 概要

本システムは、最大２４０台のＴＶカメラのズームレンズ／パンチルトをリモートコントロールできる自動追尾カメラシステムです。

あらかじめ全パチンコ台のズームアップ画面を記憶させておくことにより、ホール（防犯）コンピュータからの警報情報を受け取ると、自動的にその台のズームアップ画面を素早くマスターモニタに出力し、デジタルクレコーダなどに記録できます。１コースに２台のカメラを設置し、１台のパチンコ台を２台のカメラ（メイン／サブ）で追尾することもできますので、もれの少ない監視が可能です。また、メイン／サブそれぞれ最大２０４７台のパチンコ台を追尾することができます。柱の影などの追尾できない場所は安価な固定カメラを設置し、その映像を警報で呼び出すこともできます（簡易追尾）。また、駐車場用などの通常のズームレンズ／パンチルトも混在して１つのキーボードでコントロールすることができます。

また、キーボードを増設し複数ヶ所で操作することができます。さらに専用回線などを利用し、遠隔操作することも可能です。

各ＣＨの映像にはカメラ番号，台番号，警報名，タイトルなどが日本語で表示されパチンコ店の総合的セキュリティシステムが構築できます。

２． 特長

（１）自動追尾

- ホール（防犯）コンピュータからの警報情報を受け取ると、あらかじめ設定されているポジション（プリセットポジション）に素早くズームアップします。ホールド時間が経過すると自動的に定位置（ホームポジション）に戻ります。
- 同時に数カ所で警報が発生しても、各カメラが同時に自動追尾します。
- 同一カメラが受け持つ別の遊技台に続けて警報が発生した場合は、最後に受けた警報を優先して追尾します。
- 同一カメラが受け持つ別の遊技台に続けて不正などによる優先度の高い警報が発生した場合は、その警報を優先して追尾します。
- １つの遊技台に対して､メイン／サブの２つのカメラから別々にプリセットすること　　　ができます。警報が発生した場合、２台のカメラが同時に追尾することが可能です。
- 固定カメラの映像を警報で呼び出す簡易追尾ができます。

（２）コンビネーション（プリセット）カメラ

- カメラ、レンズ、パンチルトが小型で一体化していますので外観上で店内の雰囲気を損ねません。カメラはデジタルプロセスにより切れのよい鮮明な映像を出力します。
- レンズは光学２３倍レンズを採用｡パンは３６０°エンドレス､チルトは１モーション１８０°追従します。
- 防滴構造のため、軒下などの半屋外にも設置可能です。
- 各カメラのシャッタスピード，自動感度アップなどを手元で調整し記憶すること　　　ができます。

（３）１同軸多重通信

- コンビネーションカメラとの通信は１本の同軸ケーブルに映像と制御を多重しますので工事費の削減、メンテナンスの向上がはかれます。

（４）メモリ

・　最大２４０ＣＨのカメラのホームポジションと最大２０４７台のパチンコ台のプリセットデータ（ズームパン、チルト、警報マーク表示位置）を記憶することができます。
・　１つの遊技台に対して、２台のカメラで追尾することができます。この場合でもプリセット数は最大２０４７台まで設定できます。
・　遊技台（メイン／サブ）の他にも、夜間時の２４０ポジション，島金庫１２８ポジション，計数器１２８ポジション，券売機１２８ポジション，その他１２８ポジションのプリセットが可能です。

（５）キーボード

・　システムコントローラとキーボードが分離され、操作性、スペースファクタ（Ａ４サイ
・　ズのディスクトップ）がよく、操作部は防塵防滴に優れたフラットシートです。
・　２０文字Ｘ２行の大きいＬＣＤ画面を採用しました。
・　３Ｄジョイスティックの採用により、片手でパンチルト，ズーム，スピードを操作できます。また、スピードをオートにするとズーム比によりパンチルトの速度が変化し、自然な操作が可能です。
・　最大１０台のキーボードをＨＵＢで接続し１０カ所から操作することもできます。

（６）自動警報録画

・　警報が発生するとその遊技台のズームアップ画面をホールド時間だけ出力し、自動的にデジタルレコーダに録画されます。

（７）スーパーインポーズ

・　プリセットカメラのホームポジション画面では、通常タイトルとＣＨを表示します。
・　スーパーの文字幅は標準と横倍のいづれかが選択できます。
・　自動追尾画面では、警報の発生した台番、警報名、ＣＨをあらかじめ設定された時間だけ表示します。最初の５秒間は画面中央に警報名を４倍角で表示します。

（８）夜間モード

・　夜間モードにすると全プリセットカメラが夜間のホームポジションに向きを変えます。

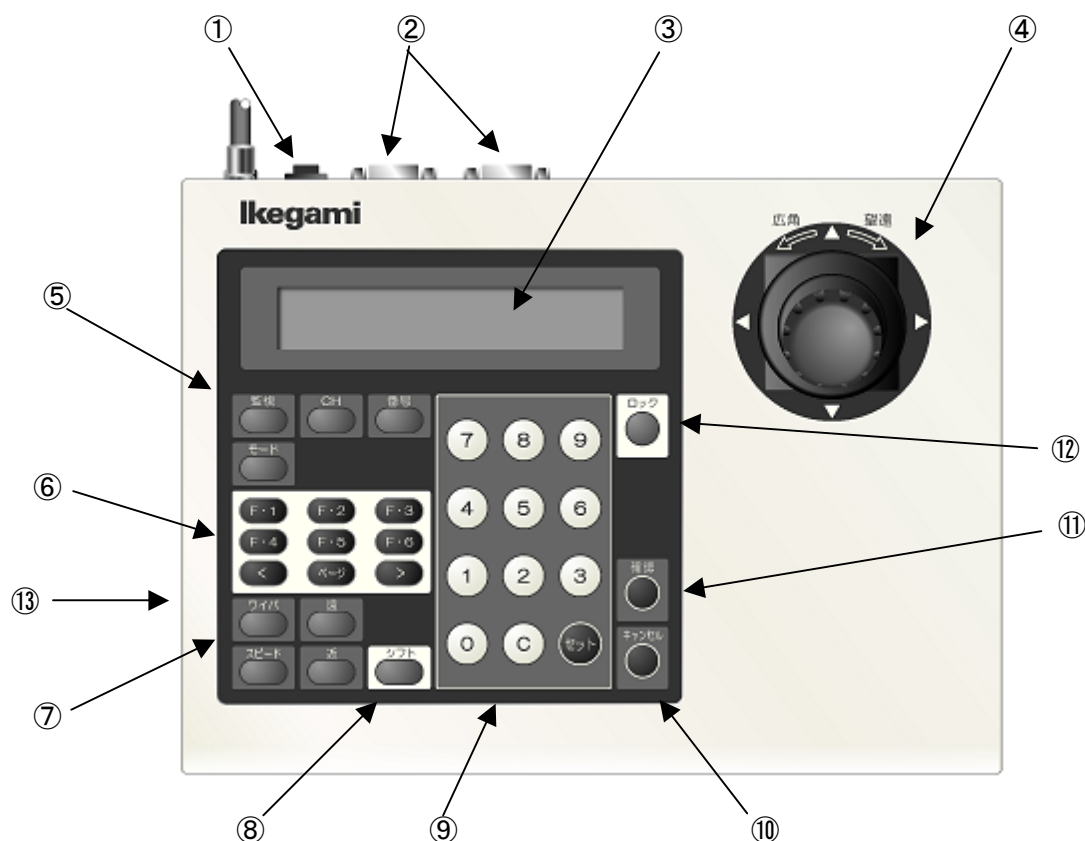
（９）通常の電動パンチルト制御

・　ズームパンチルトコントローラを接続すれば駐車場監視等の為の手動のパンチルト／ズームレンズ／ワイパ／照明を同じキーボードでコントロールすることができます。

（10）外部制御（オプション）

・　電話回線や専用ＬＡＮ回線を利用し遠隔地から本システムを操作することができます。
・　パソコンを接続し、パソコンの画面から制御することができます。

３． 各部の名称と機能

【3．1】 キーボード（ＰＣＳ－３５ＫＢ）

①　電源スイッチ　　：｜側が電源ＯＮです。

②　通信コネクタ　　：I-LAN(RS-485)に同梱のケーブルで弊社製周辺機器を接続します。RS-232C(DCE)からも同様に制御することができます。

③　ＬＣＤ　　　　　：２０行Ｘ２桁の大型ＬＣＤです。５分間操作しないと自動消灯します。

④　３Dｼﾞｮｲｽﾃｨｯｸ　　：パンチルト、ズームレンズの操作が片手で行えます。

⑤　操作モード選択部：オートスイッチャ監視、カメラＣＨ選択、プリセット番号呼出し、デジタルレコーダ操作などの操作モードを選択します。

⑥　ファンクション部：各操作モードで操作用のファンクションボタンの内容が切り替わります。ページを切替えて色々な操作を行います。

⑦　操作部　　　　　：ワイパ、スピード、フォーカスの操作を行います。

⑧　シフト　　　　　：特殊な操作の時に使用します。

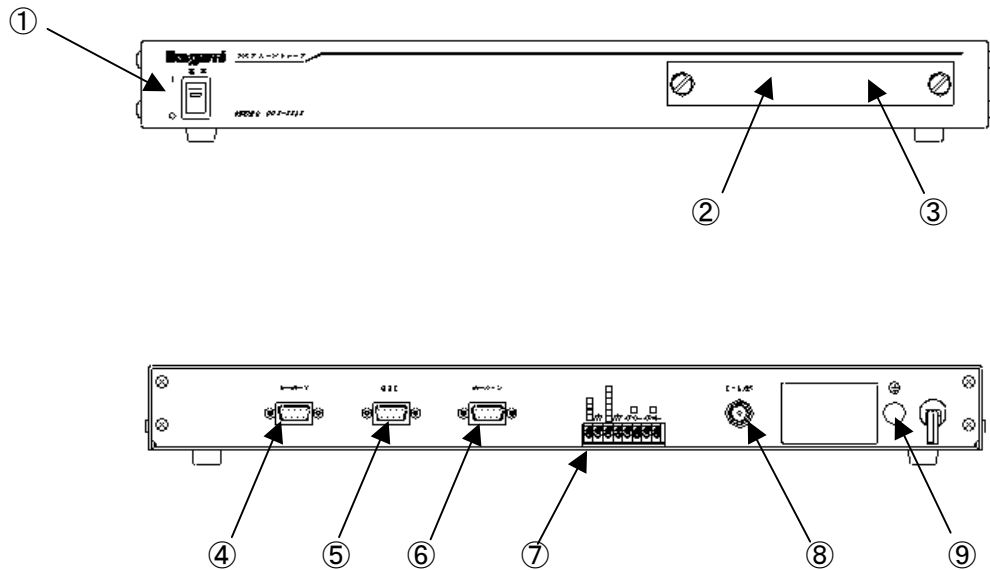
⑨　テンキー部　　　：カメラＣＨやプリセット番号を入力します。

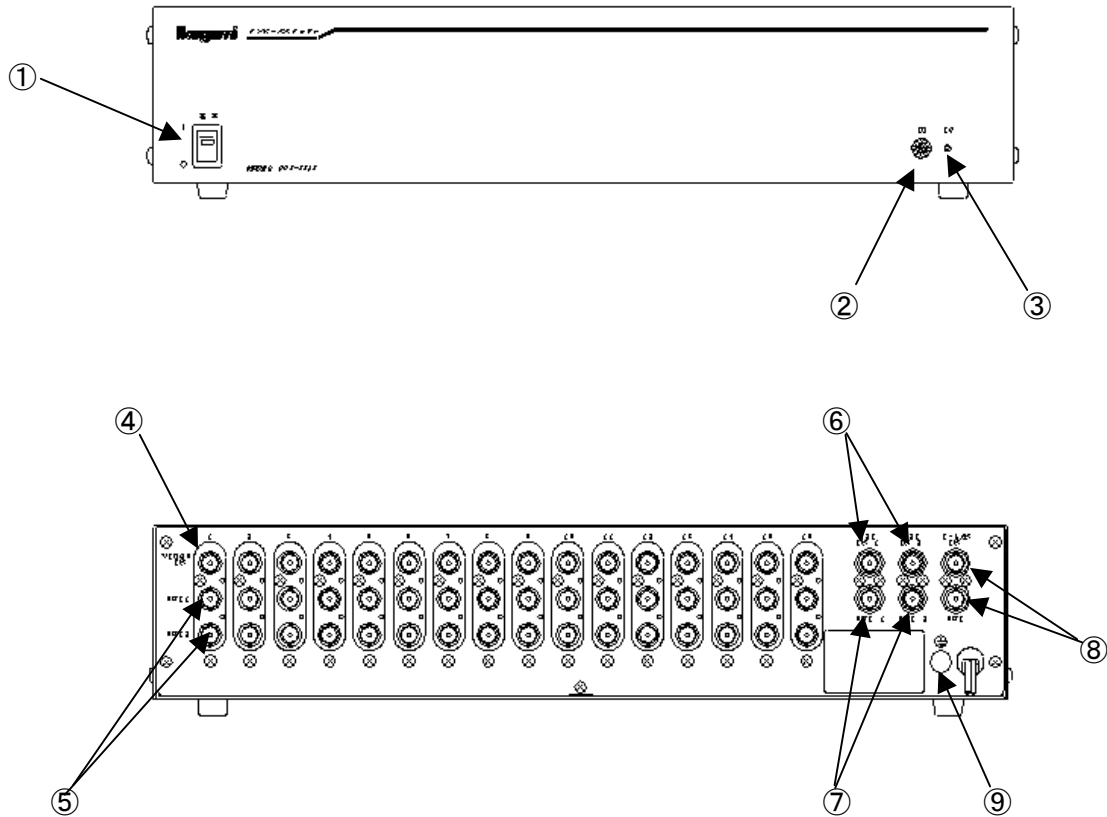
⑩　キャンセル　　　：セットアップ時、主に何もせず前画面に戻る時使用します。

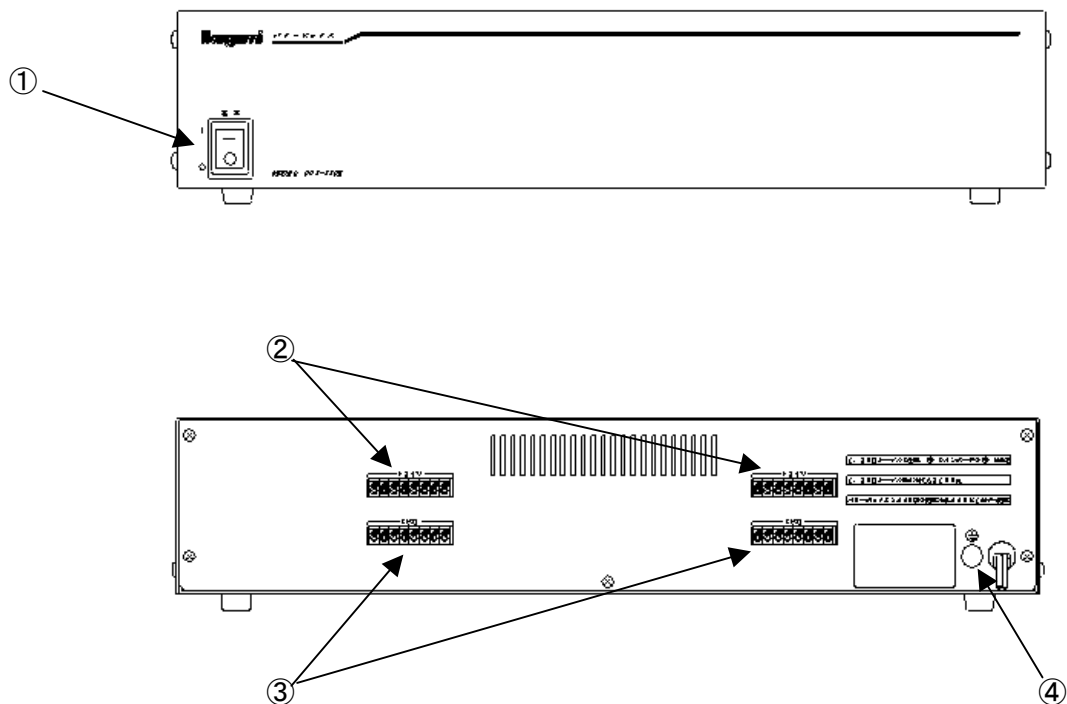
⑪　確認　　　　　　：セットアップ時、設定内容をメモリします。

⑫　ロック　　　　　：現在使用しているカメラ操作権をロックします。

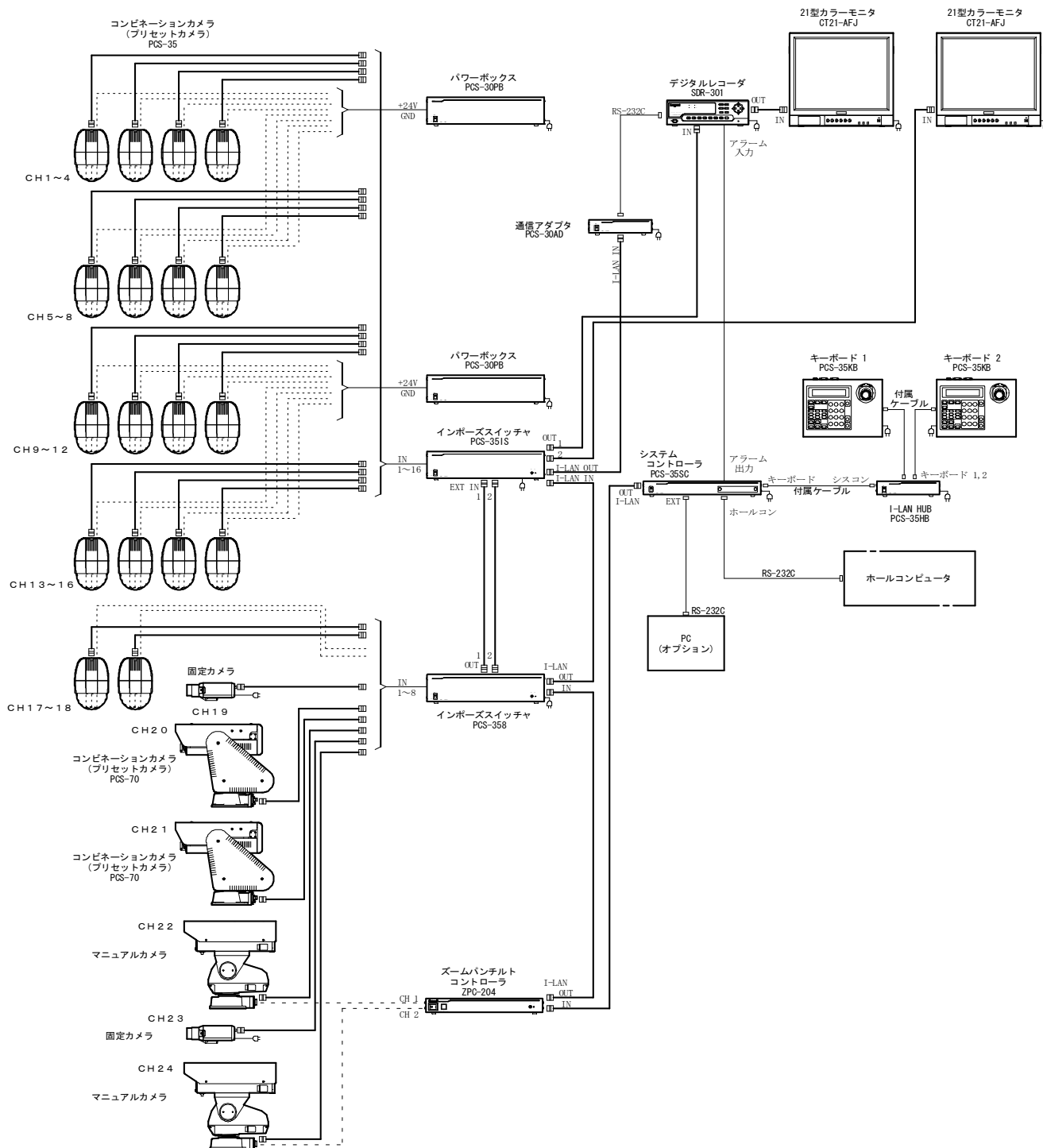
⑬　輝度調整　　　　：文字の輝度を調整できます（側面の穴）。

【３．２】　システムコントローラ　（ＰＣＳ－３５ＳＣ）

①	電源	ｽｲｯﾁ	：システムコントローラの電源スイッチです。
②	ＩＦ	LED	：ホール（防犯）コンピュータからの通信を受信する毎に点灯します。
③	メンテナンス	ｺﾈｸﾀ	：パソコンからのバージョンアップ用です。
④	キーボード	ｺﾈｸﾀ	：キーボードを接続します。
⑤	ＥＸＴ	ｺﾈｸﾀ	：パソコンなど外部との通信に使用します（オプション）。
⑥	ホールコン	ｺﾈｸﾀ	：ホール（防犯）コンピュータに接続します。
⑦	Ｉ／Ｏ	端子台	：外部入力（夜間タイマまたはタイムラプスＶＴＲのカメラ切替パルス入力）とアラーム、夜間切替出力です。
⑧	Ｉ－ＬＡＮ	ｺﾈｸﾀ	：ｲﾝﾎﾟｰｽﾞｽｲｯﾁｬ､ｽﾞｰﾑﾊﾟﾝﾁﾙﾄｺﾝﾄﾛｰﾗ､ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾚｺｰﾀﾞ等の制御用通信出力です。
⑨	ＦＧ	端子	：ＦＧと接続します。

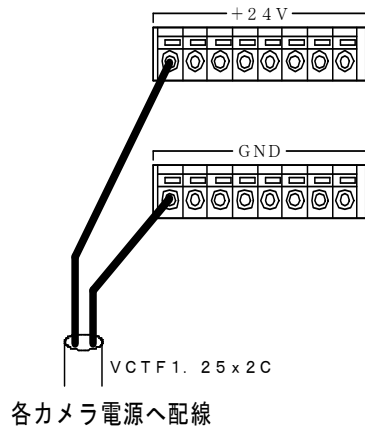
【３．３】　インポーズスイッチャ　（ＰＣＳ－３５ＩＳ）

①　電源　　　　　ｽｲｯﾁ　：インポーズスイッチャの電源スイッチです。
②　ＩＤ　　　　　ｽｲｯﾁ　：各機種ごとに１から順に設定し、対応ＣＨを決めます。
③　ＩＦ　　　　　LED　：システムコントローラからの通信を受信する毎に点灯します。
④　VIDEO IN　　　ｺﾈｸﾀ　：カメラなどからの映像を入力します。
⑤　VIDEO OUT1,2　ｺﾈｸﾀ　：各カメラの映像を２系統出力します。
⑥　ＥＸＴ　ＩＮ　ｺﾈｸﾀ　：次のＩＤのインポーズスイッチャの映像出力を入力します。
⑦　VIDEO OUT　　ｺﾈｸﾀ　：マスタモニタ用の映像を出力します。
⑧　Ｉ－ＬＡＮ　　ｺﾈｸﾀ　：ｲﾝﾎﾟｰｽﾞｽｲｯﾁｬ､ｽﾞｰﾑﾊﾟﾝﾁﾙﾄｺﾝﾄﾛｰﾗ 等の制御用通信ｺﾈｸﾀです。
⑨　ＦＧ　　　　　端子　：ＦＧと接続します。

【３．４】　パワーボックス　（ＰＣＳ－３５ＰＢ）

①　電源　　　　　ｽｲｯﾁ　：コンビネーションカメラの電源スイッチです。
②　＋２４Ｖ　　　端子　：コンビネーションカメラの＋２４Ｖ端子と接続します。
③　ＧＮＤ　　　　端子　：コンビネーションカメラのＧＮＤ端子と接続します。
④　ＦＧ（アース）端子　：ＦＧと接続します。

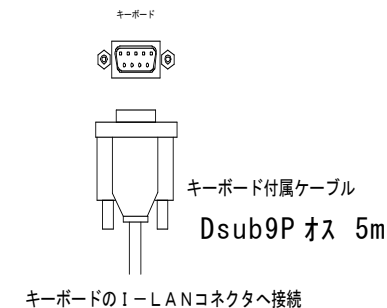
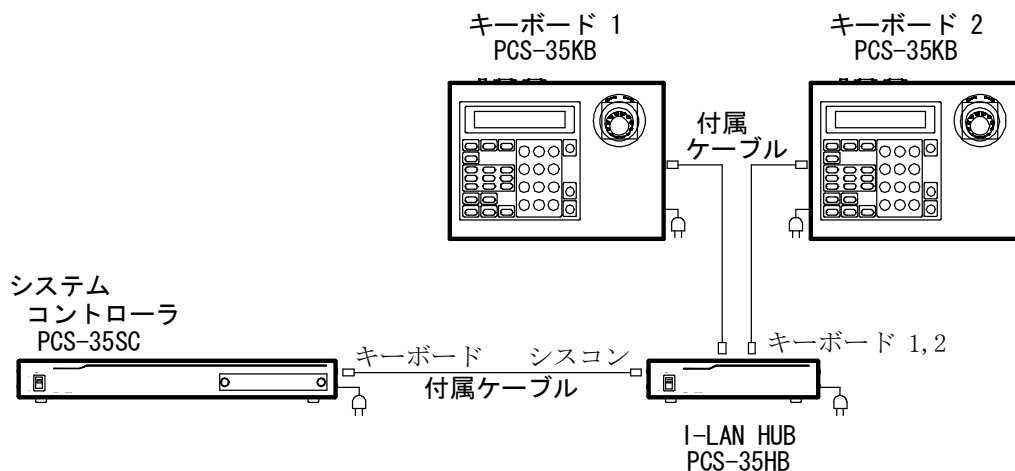
４． 接続のしかた

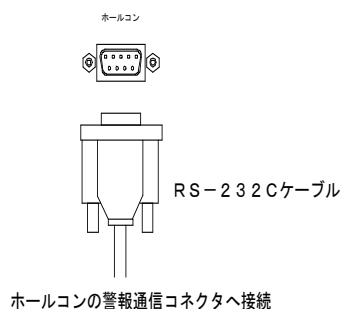
【４．１】 システム全体の接続

◆ ヒント ◆

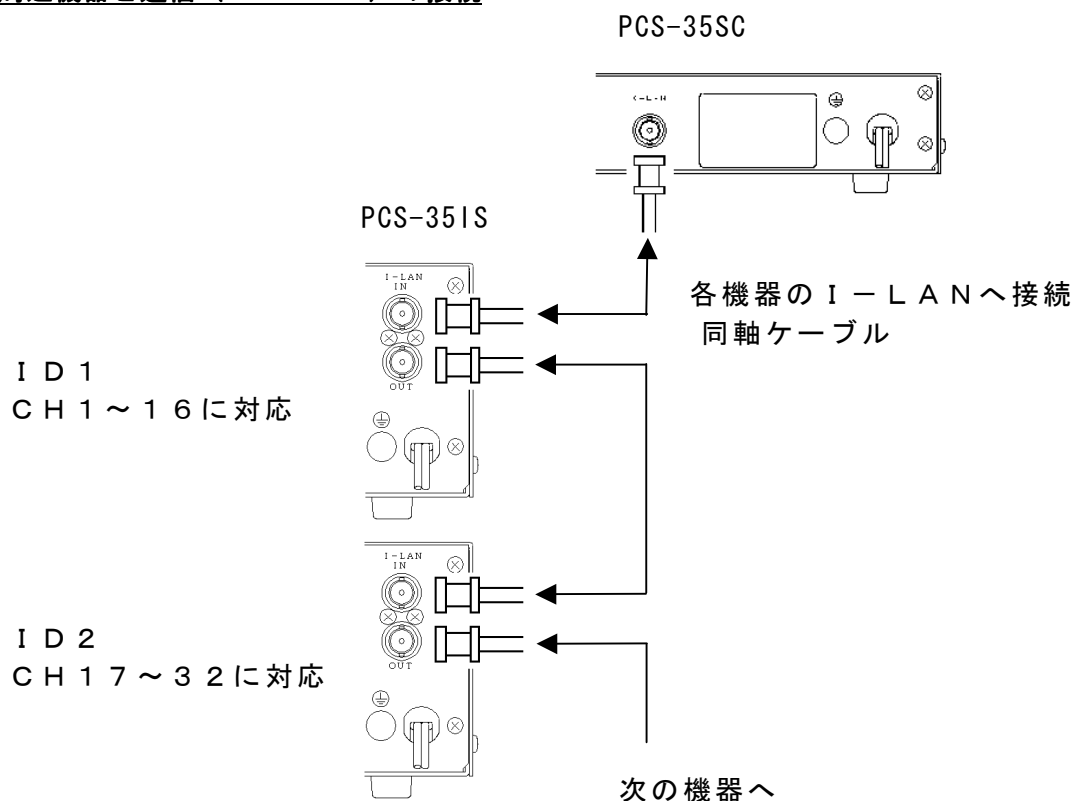
ＰＣＳ－３５ＩＳはカメラを１６台接続することができますが、図のように２台目のＰＣＳ－３５ＩＳの接続するカメラが８台以下の場合は、ＰＣＳ－３５８という機器を接続することも可能です。ただし、ＩＤ設定はなく替わりにその機器が担当する最初のＣＨを設定します（上図の場合はＣＨ１７と設定）。

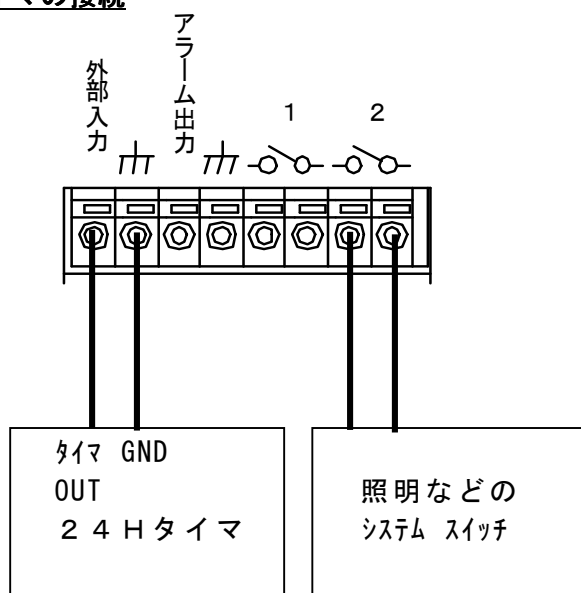
【４．２】　カメラとパワーボックスの接続

※ケーブルの先端を１０ｍｍ剥いてよじり、配線穴上側のボタンを押して奥まで挿入します。
※カメラ電源ケーブルはＶＣＴＦ１．２５□以上を使用して下さい。
　１．２５□で～２００ｍ、２．０□で～３００ｍ、３．５□で～６００ｍが目安です。
※ＦＧはつまみを押し１φ程度のワイヤを挿入しＦＧに接続します。

【４．３】　システムコントローラ（ＰＣＳ－３５ＳＣ）の接続

（１）キーボードとの接続

※キーボードが１台ならばキーボードコネクタに接続してください。

※キーボードが２台以上ならばＩ－ＬＡＮ　ＨＵＢを使用します。
※ＨＵＢ１台に付きキーボードが３台接続可能です。

（２）ホール（防犯）コンピュータとの接続

※ホールコンコネクタはＲＳ－２３２Ｃ　Ｄｓｕｂ９Ｐオス（ＤＣＥ）です。
※ＤＴＲ－ＤＳＲ、ＲＴＳ－ＣＴＳはショートしてあります。
※ホール（防犯）コンピュータの仕様に合わせてケーブルをご用意ください。

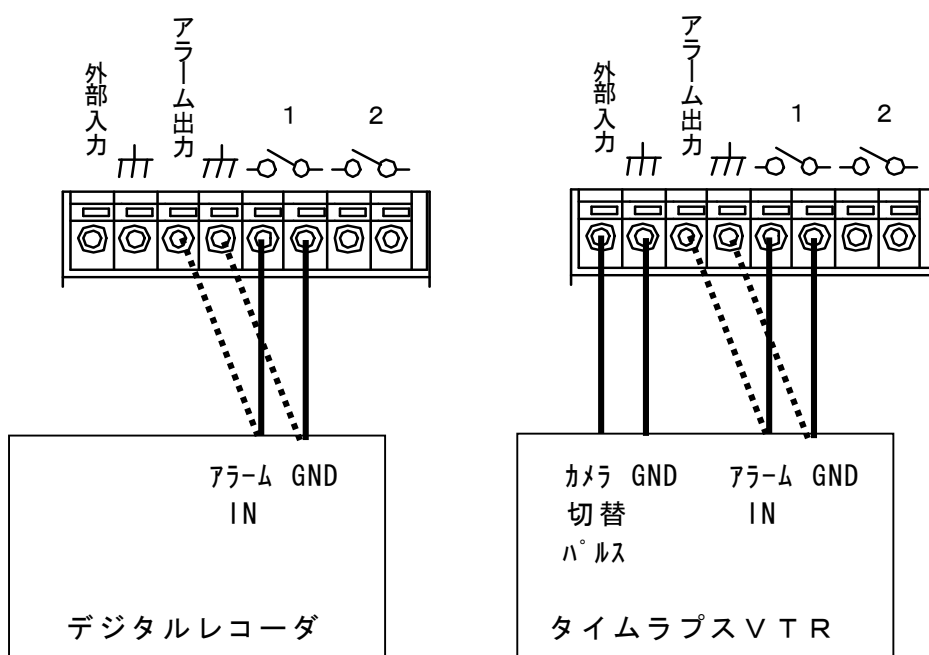
（３）周辺機器と通信（Ｉ－ＬＡＮ）の接続

※ＩＤは順に１～Ｆまで設定でき、ＦはＣＨ２２５～２４０に対応します。
※特にＩＤ順に各機器を接続する必要はありません。
※<u>Ｉ－ＬＡＮ同軸ケーブルのコネクタシェル部分はＧＮＤではありませんので他機器と接触しないようご注意願います。</u>

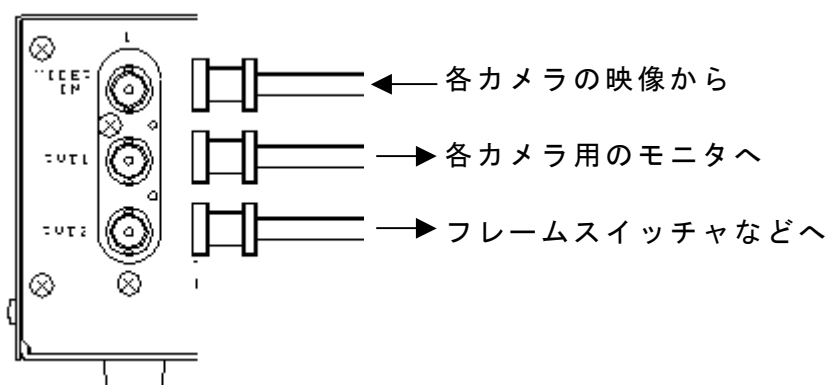
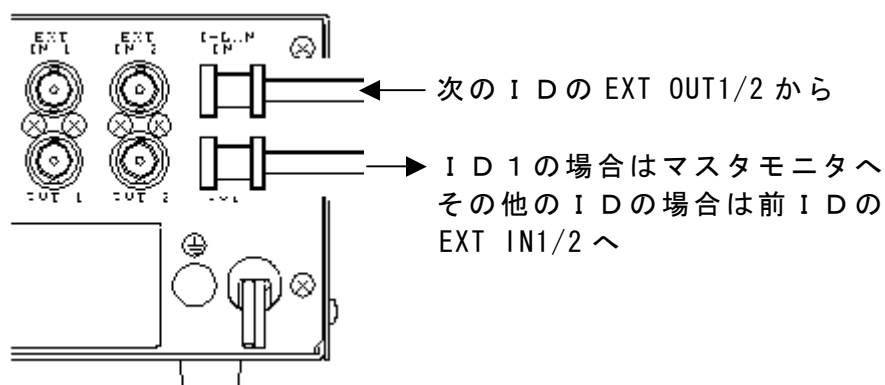
（４）夜間タイマの接続

※システム設定１にてＥＸＴの設定を夜間ａ／ｂにします。ａは夜間時にショート、ｂは夜間時にオープンです。タイマの仕様によって設定してください。

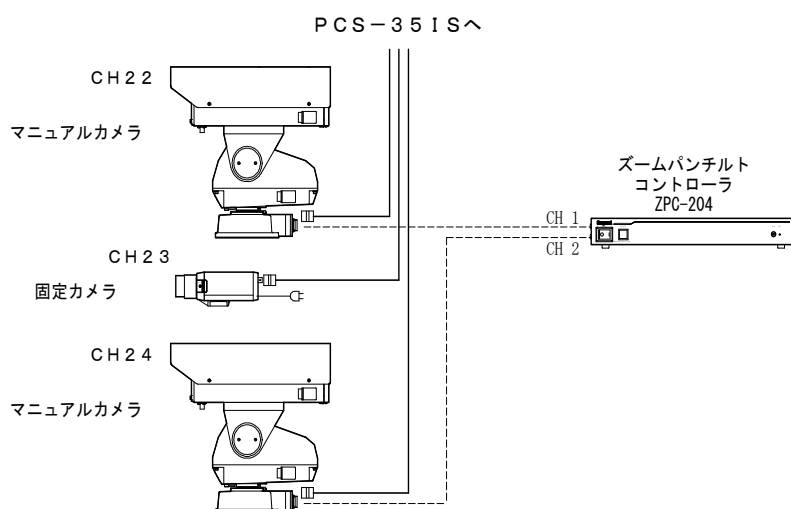
※夜間になると

・システムコントローラの後面パネルの外部入力に信号が入ると、カメラは夜間用のホームポジションに向きます。

・同時にリレー接点２がショートします（MAX DC24V 0.5A）。
他のシステムの無電圧接点入力としてご使用ください。

（５）デジタルレコーダ／タイムラプスＶＴＲとの接続

※ホール（防犯）コンピュータから警報通信が入るとアラーム出力し、同時にリレー接点１もショートします。各機器の仕様に合わせて、どちらかを接続します。

【４．５】　インポーズスイッチャの接続

※ＶＩＤＥＯ　ＯＵＴ１，２は同じ映像出力で各カメラの映像が出力されます。
　必要であれば各カメラ用モニタや周辺機器に接続します。

※最後のＩＤのＰＣＳ－３５ＩＳ　EXT OUT から順に前のＩＤの EXT IN の同じ番号へカスケード接続していきます。ＩＤ１の場合はマスタモニタへ接続します。
※キーボードのモニタＮｏ設定の番号が EXT の番号に対応します。

【４．６】　ズームパンチルトコントローラの接続

・マニュアルカメラのＣＨの若い番号から順にズームパンチルトコントローラのＣＨ１から接続して行きます。固定カメラが間にある場合も詰めて接続します。
・パンチルトの接続方法はズームパンチルトコントローラの取扱説明書を参照願います。

【５．１】 キーボードＬＣＤ画面による設定

１）キーボード本体の設定

キーボード本体の設定は、監視画面で シフト＋セット＋ 番号 ボタンを同時に押します。

① キーボードＩＤの設定

ＫＢ－ＩＤ：００

・数値入力は １０キーで数字を入力しセットを押します。

・ 確認 で設定されます。キャンセルは設定されずに次画面に進みます。

・キーボードの使用数が１台の場合は０１を設定します。複数台の場合は各キーボードごとに順に、０２、０３・・・と設定します。

② モニタＮＯ設定

・キーボードが使用するモニタの番号を設定します。モニタの番号はインポーズスイッチャの出力ＣＨの番号に対応します。

モニタＮＯ：００ ［カクニン］メモリ　［キャンセル］シナイ

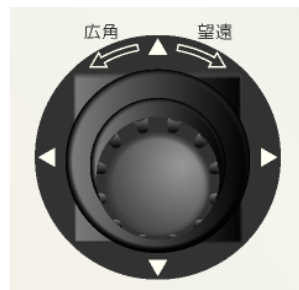
２）自動追尾（ＰＣＳ）システムセットアップ

システム全体のセットアップは、監視画面で シフト＋セット＋モードボタンを同時に押します。セットアップ中は他のキーボードは使用できなくなります。

ＰＣＳシステム　セットアップ ［カンシ］モドル

・システム全体のセットアップに入ります。その後はモニタのセットアップ画面を見ながら設定を行います。

・セットアップは主に セット 確認 ３Ｄジョイスティックを使用して行います。それぞれ下記の動作をします。

＊次のＣＨ　＊次の画面　＊カーソル移動／数値、項目設定／カメラ操作

・ **監視 を押すとセットアップが終了します。**

【５．２】　システムセットアップのモニタ画面による設定

システムに合わせたセットアップが必ず必要ですので、まず初めに設定して下さい。

１）システム設定画面

（１）システム設定１画面

※　画面表示内容は工場出荷の設定です。

システム設定１	
プ　リセットＮｏ　４／９　あり	：ＹＥＳ
サブ　プ　リセット	：ＮＯ
メイン／サブ　ド　ウジ　ツイビ	：ＹＥＳ
スーパ　ーインポ　ー　ズ	：ＹＥＳ
マニュアル操作　アラーム　アウト	：ＹＥＳ
マニュアル操作　スピ　ード	：ＭＩＤ
ＥＸＴ入力	：ＶＴＲａ
ホールコンピュータ	：０１

上下：設定変更
左右：カーソル移動　　　確認：次の画面

・プリセットＮｏ　４／９あり
　プリセットＮＯに、４と９の数字を使用するか否かを設定します。
　　ＹＥＳ＝使用する　（プリセットＮｏ＝１～最大２０４７）
　　ＮＯ　＝使用しない（プリセットＮｏ＝１～最大３８８８）
・サブプリセット
　遊技台１台に対して２台のカメラからプリセット可能とするか否かを設定します。
　　ＹＥＳ＝サブプリセット有り（サブプリセットＮｏ＝１～最大２０４７）
　　ＮＯ　＝サブプリセット無し
・メイン／サブ　ド　ウジ　ツイビ
　遊技台１台に対して２台のカメラで同時に自動追尾するか否かを設定します。
　　ＹＥＳ＝２台のカメラで同時に自動追尾する
　　ＮＯ　＝メインプリセットを追尾している時、同時に同じカメラに警報が入った場合、
　　　　　他のカメラがサブプリセットとして替わりに追尾する。
・スーパーインポーズ
　スーパーをモニタに表示するか否かを設定します。
　　ＹＥＳ＝スーパー表示有り
　　ＮＯ　＝スーパー表示無し（セットアップ画面は表示されます。）
・マニュアル操作　アラーム　アウト
　マニュアル操作中の間だけデジタルレコーダ等にアラームを出力します。マニュアル操作を録画したい場合に設定します。
　　ＹＥＳ＝アラーム出力する
　　ＮＯ　＝アラーム出力しない
・マニュアルソウサ　スピード
　３Ｄジョイスティックを最大まで倒した時のレンズ，回転台の操作スピードの最大値を設定します。
　　ＨＩ　＝ＭＡＸ　ﾊﾟﾝ 120゜/秒　ﾁﾙﾄ 60゜/秒
　　ＭＩＤ＝ＭＡＸ　ﾊﾟﾝ 60゜/秒　ﾁﾙﾄ 30゜/秒
　　ＬＯＷ＝ＭＡＸ　ﾊﾟﾝ 30゜/秒　ﾁﾙﾄ 15゜/秒

・ＥＸＴ入力

外部入力の接点仕様を設定します。

ＶＴＲａ＝タイムラプスＶＴＲの映像切替パルス（ノーマリオープン）
ＶＴＲｂ＝タイムラプスＶＴＲの映像切替パルス（ノーマリクローズ ）
夜間ａ　＝夜間モード切替パルス（ノーマリオープン ）
夜間ｂ　＝夜間モード切替パルス（ノーマリクローズ ）

・ホールコンピュータ

接続されるホール（防犯）コンピュータのＮｏを設定します。

※　設定を変更すると自動追尾できなくなりますので、ご注意ください。

（２）システム設定２画面

システム設定２		
アラーム解除時間	：１０	秒
優先アラーム解除時間	：１０	秒
マニュアル解除時間	：１０	分
オートスイッチーＶＴＲパ　ルス	：０４	回
ー切り替え時間	：０２	秒
アラームオートスイッチ	：　１	秒

上下：設定変更
左右：カーソル移動　　　確認：次の画面

・アラーム解除時間

通常（レベル０）警報が発生してから警報を自動解除するまでの時間を設定します。

設定範囲＝００～２５秒　（００：自動解除しない）

・優先アラーム解除時間

優先（レベル１）警報が発生してから警報を自動解除するまでの時間を設定します。

設定範囲＝００～２５秒　（００：自動解除しない）

・マニュアル解除時間

マニュアル操作終了後に自動的にマニュアル解除されるまでの時間を設定します。

設定範囲＝００～９９分　（００：自動解除しない）

・オートスイッチーＶＴＲパ　ルス

通常時（警報が発生していない時）に、タイムラプスＶＴＲからのカメラ切替パルスをカウントし、セットされた回数で映像を次のＣＨに切り替えます。

設定範囲＝００～９９回　（００：オートスイッチＯＦＦ）

・オートスイッチー切り替え時間

通常時（警報が発生していない時）に、テープ終了等の理由でタイムラプスＶＴＲからのカメラ切替パルスがなくなって３０秒が経過すると、セットされた時間で映像を次のＣＨに切り替えます。

設定範囲＝００～９９秒　（００：オートスイッチＯＦＦ）

・アラームオートスイッチ

同一レベルの警報が複数ＣＨで発生した時、セットされた時間で映像を次の発生ＣＨに切り替えます。

設定範囲＝０～９秒　　（０　：オートスイッチＯＦＦ）

（３）システム設定３画面

<table>
<tr><td colspan="2" align="center">システム設定３</td></tr>
<tr><td>カメラ台数</td><td>：０１６</td></tr>
<tr><td>上下：設定変更</td><td></td></tr>
<tr><td>左右：カーソル移動</td><td>確認：次の画面</td></tr>
</table>

・カメラ台数

プリセットカメラ、マニュアルカメラ、固定カメラの総数を入力します。

設定範囲＝０１～２４０台

２）タイトル設定画面

<table>
<tr><td colspan="2" align="center">タイトル設定</td></tr>
<tr><td colspan="2">ＣＨ００１</td></tr>
<tr><td colspan="2">□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□</td></tr>
<tr><td colspan="2">□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□</td></tr>
<tr><td>上下：設定変更</td><td>セット：次のＣＨ</td></tr>
<tr><td>左右：カーソル移動</td><td>確認：次の画面</td></tr>
</table>

・タイトル

各カメラの２４文字×２行のタイトルを設定します。

3）カメラ設定画面

ジョイスティックでカメラタイプを設定します。カメラタイプにより⑴～⑹の画面になります。

（１）カメラタイプが「固定」の時のカメラ設定画面

```
カメラ設定
ＣＨ＊＊＊　　タイプ　：固定



上下：設定変更　　　セット：次のＣＨ
左右：カーソル移動　　確認：次の画面
```

・タイプ

カメラのタイプを選択します。

固定　　　　　＝固定カメラ
マニュアル　　＝マニュアルカメラ（電動回転台付きカメラ）
ＰＣＳ－３０　＝コンビネーションカメラＰＣＳ－３０
ＰＣＳ－３３　＝コンビネーションカメラＰＣＳ－３３
ＰＣＳ－３５　＝コンビネーションカメラＰＣＳ－３５
ＰＣＳ－７０Ａ＝コンビネーションカメラＰＣＳ－７０Ａ

（２）カメラタイプが「マニュアル」の時のカメラ設定画面

```
カメラ設定
ＣＨ００１　タイプ　：マニュアル
　オートパ゜ン　　　：ＯＦＦ



上下：設定変更　　　セット：次のＣＨ
左右：カーソル移動　　確認：次の画面
```

・オートパン

マニュアル操作時に、そのＣＨを選択したとき自動でオートパンさせるか否かを設定します。

ＯＦＦ＝オートパンしない
ＯＮ　＝オートパンする

（３）カメラタイプが「ＰＣＳ－３０」の時のカメラセット画面

カメラ設定
ＣＨ０１　　タイプ　：ＰＣＳ－３０
シャッター　　　：オートＦＬ
レベ゛ルモート゛　：ノーマル
夜間モード　　　：感度アップ
ホワイトバ゛ランス：オート
ホワイトバランス設定

上下：設定変更　　セット：次のＣＨ
左右：カーソル移動　　確認：次の画面

・シャッター
シャッタースピードを選択します。
１／６０　＝１／６０　秒（西日本地域）
１／１００＝１／１００秒（東日本地域）
オートＦＬ＝オートフリッカレス
・レベルモード
カメラのレベルモードを選択します。
ノーマル　＝通常の映像レベル
感度アップ＝特に暗い場所のみを映す場合。４倍の感度になります。
ストップモーションの様な映像になります。
逆光補正　＝逆光により人物が暗くなってしまう場所のみを映す場合。
・夜間モード
カメラの夜間のレベルモードを選択します。
ノーマル　＝通常の映像レベル
感度アップ＝特に暗い場所のみを映す場合。４倍の感度になります。
ストップモーションの様な映像になります。
逆光補正　＝逆光により人物が暗くなってしまう場所のみを映す場合。
・ホワイトバランス
ホワイトバランス調整をオートにするかマニュアルにするかを選択します。
マニュアルの時、ジョイスティックを右に倒すとホワイトバランス設定画面でホワイトバランスの調整が行えます。
オート　　＝被写体に応じて自動的にホワイトバランスを調整します。
マニュアル＝マニュアルでホワイトバランスを調整できます。

（４）カメラタイプが「ＰＣＳ－３３」の時のカメラセット画面

```
                    カメラ設定
CH001        タイプ   ：ＰＣＳ－３３
   逆光補正           ：ＯＦＦ        ＯＦＦ
   感度アップ         ：ＯＦＦ        オート
   シャッター         ：オートＦＬ    ×１５
   デ ジ タルズ ーム：ＯＮ
   ホワイトバ ランス  ：オート

────────────────────────────
    上下：設定変更        セット：次のＣＨ
    左右：カーソル移動      確認：次の画面
```

・逆光補正（左：昼間　右：夜間）

逆光補正の機能を使用するか否かを設定します。

ＯＮ　＝逆光により人物が暗くなってしまう場所のみを映す場合。

ＯＦＦ＝通常の映像レベル

・感度アップ（左：昼間　右：夜間）

カメラのレベルモードを選択します。

マニュアル＝特に暗い場所のみを映す場合。「シャッター」で感度を設定します。

ＯＦＦ　　＝通常の映像レベル

オート　　＝暗い場所を映すと、自動的に感度アップします。「シャッター」で感度を設定します。

・シャッター（左：昼間　右：夜間）

感度アップＯＦＦ時はシャッタースピードを選択します。感度アップマニュアル時は感度を、感度アップオート時は最大感度を選択します。

（感度アップＯＦＦ時）

１／６０　＝１／６０　秒（西日本地域）

１／１００＝１／１００秒（東日本地域）

オートＦＬ＝オートフリッカレス

（感度アップマニュアル時、感度アップオート時）

×２　　＝カメラの感度が２倍になります。

×４　　＝カメラの感度が４倍になります。

×７．５＝カメラの感度が７．５倍になります。

×１５　＝カメラの感度が１５倍になります。

・デジタルズーム

デジタルズーム（電子ズーム）機能を使用するか否かを設定します。

ＯＮ　＝２倍デジタルズームＯＮ

ＯＦＦ＝２倍デジタルズームＯＦＦ

・ホワイトバランス

ホワイトバランス調整方法を選択します。

マニュアル／１プッシュの時、ジョイスティックを右に倒すとホワイトバランスの調整が行えます。

マニュアル　＝マニュアルでホワイトバランスを調整できます。

オート　　　＝被写体に応じて自動的にホワイトバランスを調整します。

１プッシュ　＝目標の被写体の白を写し、ホワイトバランスを合わせます。

３２００Ｋ　＝固定。室内用（ハロゲンライト照明）です。

５６００Ｋ　＝固定。屋外用（太陽光）です。

ケイコウトウ＝固定。室内用（白色蛍光灯）です。

（５）カメラタイプが「ＰＣＳ－３５」の時のカメラセット画面

```
カメラ設定
ＣＨ００１　　タイプ　：ＰＣＳ－３５
　　カラー／シロクロ　：カラー　　カラー
　　ワイド　Ｄ　　　　：ＯＦＦ　　ＯＦＦ
　　逆光補正　　　　　：ＯＦＦ　　ＯＦＦ
　　感度アップ　　　　：ＯＦＦ　　オート
　　シャッター　　　　：オートＦＬ　×１５
　　デ　ジ　タルズ　ーム：ＯＮ
　　ホワイトバ　ランス　：オート
―――――――――――――――――――――――
　　上下：設定変更　　　セット：次のＣＨ
　　左右：カーソル移動　　確認：次の画面
```

・カラー／シロクロ（左：昼間　右：夜間）
　カラー／シロクロ切り替え機能のモードを選択します。
　　オート　＝被写体の輝度によりカラーとシロクロを自動で切り替えます。
　　カラー　＝カラー映像に固定します、
　　シロクロ＝白黒映像に固定します。
・ワイド　Ｄ（左：昼間　右：夜間）
　ワイドダイナミックレンジの機能を使用するか否かを設定します。
　　ＯＮ　＝画面内に屋内外が入る場所のみを映す場合。
　　ＯＦＦ＝通常の映像レベル
・逆光補正（左：昼間　右：夜間）
　逆光補正の機能を使用するか否かを設定します。
　　ＯＮ　＝逆光により人物が暗くなってしまう場所のみを映す場合。
　　ＯＦＦ＝通常の映像レベル
・感度アップ（左：昼間　右：夜間）
　カメラのレベルモードを選択します。
　　マニュアル＝特に暗い場所のみを映す場合。「シャッター」で感度を設定します。
　　ＯＦＦ　　＝通常の映像レベル
　　オート１～３＝暗い場所を映すと、自動的に感度アップします。「シャッター」で
　　　　　　　感度を設定します。（感度アップ優先）
　　　　　　　　オート１：カラー・白黒切り替え優先
　　　　　　　　オート２：標準
　　　　　　　　オート３：電子感度アップ優先
・シャッター（左：昼間　右：夜間）
　感度アップＯＦＦ時はシャッタースピードを選択します。感度アップマニュアル時は感度を、感度アップオート時は最大感度を選択します。
　（感度アップＯＦＦ時）
　　１／６０　＝１／６０　秒（西日本地域）
　　１／１００＝１／１００秒（東日本地域）
　（感度アップマニュアル時、感度アップオート時）
　　×２　＝カメラの感度が２倍になります。
　　×４　＝カメラの感度が４倍になります。
　　×８　＝カメラの感度が８倍になります。
　　×１６＝カメラの感度が１６倍になります。
　　×３２＝カメラの感度が３２倍になります。

・デジタルズーム

デジタルズーム（電子ズーム）機能を使用するか否かを設定します。

ＯＦＦ＝デジタルズームをＯＦＦします。
×２　＝デジタルズームの最大倍率を２倍にします。
×４　＝デジタルズームの最大倍率を４倍にします。
×８　＝デジタルズームの最大倍率を８倍にします。
×１０＝デジタルズームの最大倍率を１０倍にします。

・ホワイトバランス

ホワイトバランス調整方法を選択します。

マニュアル／１プッシュの時、ジョイスティックを右に倒すとホワイトバランスの調整が行えます。

マニュアル　＝マニュアルでホワイトバランスを調整できます。
オート　　　＝被写体に応じて自動的にホワイトバランスを調整します。
１プッシュ　＝目標の被写体の白を写し、ホワイトバランスを合わせます。
３２００Ｋ　＝固定。室内用（ハロゲンライト照明）です。
５６００Ｋ　＝固定。屋外用（太陽光）です。
ケイコウトウ＝固定。室内用（白色蛍光灯）です。

（６）カメラタイプが「ＰＣＳ－７０Ａ」の時のカメラセット画面

```
                    カメラ設定
 ＣＨ０１    タイプ    ：ＰＣＳ－７０Ａ
    カラー／シロクロ   ：カラー     カラー
    逆光補正          ：ＯＦＦ     ＯＦＦ
    感度アップ        ：ＯＦＦ     ＭＯＶ
    シャッター        ：１／６０   ×３２
    ＡＧＣ            ：ＯＦＦ
    ホワイトバランス  ：オート１

    上下：設定変更          セット：次のＣＨ
    左右：カーソル移動        確認：次の画面
```

・カラー／シロクロ（左：昼間　右：夜間）

　カラー／シロクロ切り替え機能のモードを選択します。

　　オート　＝被写体の輝度によりカラーとシロクロを自動で切り替えます。

　　カラー　＝カラー映像に固定します、

　　シロクロ＝白黒映像に固定します。

・逆光補正（左：昼間　右：夜間）

　逆光補正の機能を使用するか否かを設定します。

　　ＯＮ　＝逆光により人物が暗くなってしまう場所のみを映す場合。

　　ＯＦＦ＝通常の映像レベル

・感度アップ（左：昼間　右：夜間）

　カメラのレベルモードを選択します。

　　マニュアル＝特に暗い場所のみを映す場合。「シャッター」で感度を設定します。

　　ＯＦＦ　　＝通常の映像レベル

　　ＳＴＤ　　＝標準オートモード。「シャッター」で最大感度を設定します。

　　ＭＯＶ　　＝動き優先オートモード。シャッター」で最大感度を設定します。

　　Ｓ／Ｎ　　＝Ｓ／Ｎ優先オートモード。シャッター」で最大感度を設定します。

・シャッター（左：昼間　右：夜間）

　感度アップＯＦＦ時はシャッタースピードを選択します。感度アップＯＮ時は感度を、感度アップオート時は最大感度を選択します。

　（感度アップＯＦＦ時）

　　１／６０　＝１／６０　秒（西日本地域）

　　１／１００＝１／１００秒（東日本地域）

　　１／１２５＝１／１２５秒

　（感度アップマニュアル、ＳＴＤ、ＭＯＶ、Ｓ／Ｎ時）

　　×２　　＝カメラの感度が２倍になります。

　　×４　　＝カメラの感度が４倍になります。

　　×６　　＝カメラの感度が６倍になります。

　　×８　　＝カメラの感度が８倍になります。

　　×１２　＝カメラの感度が１２倍になります。

　　×１６　＝カメラの感度が１６倍になります。

　　×２４　＝カメラの感度が２４倍になります。

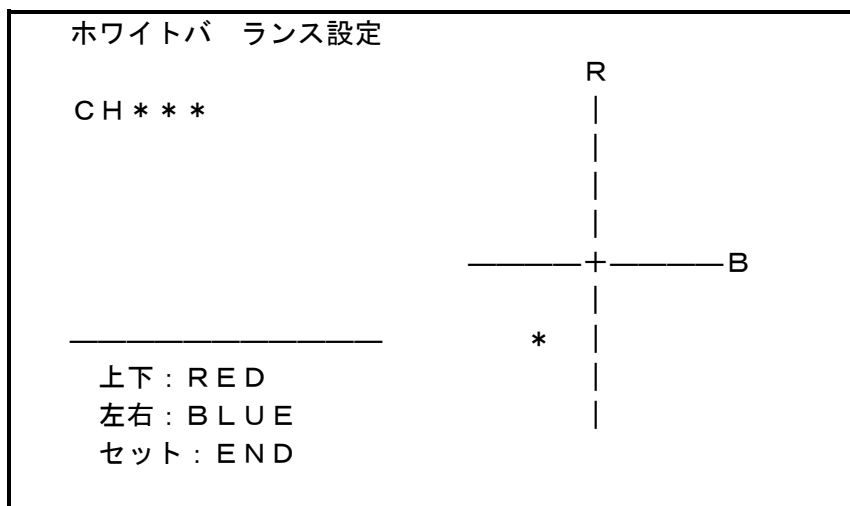
　　×３２　＝カメラの感度が３２倍になります。

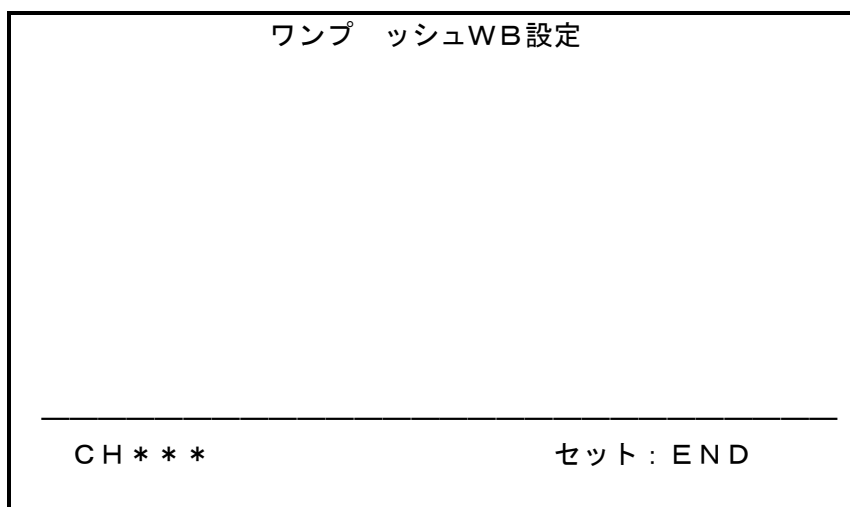
　＊　注意：感度アップの倍率が高くなるに従って、ストップモーションの様な映像になります。

・ＡＧＣ
　ＡＧＣ機能を使用するか否かを設定します。
　　ＯＮ　＝ＡＧＣ　ＯＮ
　　ＯＦＦ＝ＡＧＣ　ＯＦＦ

・ホワイトバランス
　ホワイトバランス調整方法を選択します。
　マニュアル／１プッシュの時、ジョイスティックを右に倒すとホワイトバランスの調整が行えます。
　　マニュアル　＝マニュアルでホワイトバランスを調整できます。
　　オート１　　＝被写体に応じて自動的にホワイトバランスを調整します。
　　オート２　　＝被写体に応じて自動的にホワイトバランスを調整します。
　　１プッシュ　＝目標の被写体の白を写し、ホワイトバランスを合わせます。

（７）ホワイトバランス設定画面

① マニュアル　ホワイトバランス設定画面

・ホワイトバランス設定
　ジョイスティックの倒し角度により、変化量が変わります。

② ワンプッシュＷＢ設定画面

４）ホームポジション画面

（１）ホームポジション画面

①　ホームポジション画面

ホーム　ポ　ジ　ション

カメラＣＨ：＊＊＊

ポ　ジ　ション設定

上下：設定変更
左右：カーソル移動　　　確認：次の画面

・カメラＣＨ
　ポジション設定を行うプリセットカメラＣＨを入力します。
　　設定範囲＝００１～カメラ最終ＣＨ
　　（カメラタイプをプリセットカメラにセットしたＣＨのみ）

②　ホームポジション設定画面

（２）夜間ポジション画面

・同様に夜間ポジションを設定します。
・夜間ポジションとは、システム設定１にてＥＸＴ入力設定が夜間のとき、システムコントローラの後面パネルの外部入力に信号が入ると、カメラは夜間用のホームポジションに向きます。
・同時にリレー接点２がショートします。

５）プリセットポジション画面

（１）メインプリセットポジション画面

①　メインプリセットポジション画面

```
メイン　プ　リセット　ポ　ジ　ション


プ　リセットＮｏ：０００１　ー
カメラＣＨ：００１

ポ　ジ　ション設定

上下：設定変更
左右：カーソル移動　　　確認：次の画面
```

・プリセットＮｏ

プリセットするメインプリセットＮｏを入力します。（Ｆ・１）

設定範囲＝０００１～２０４７（4,9有り）／０００１～３８８８（4,9無し）

※プリセットされてないＮｏの横には､’ー’が表示されます。

キャンセルを押すとそのＮｏのメモリがクリアされます。

・カメラＣＨ

プリセットするカメラＣＨをセットします。

設定範囲＝００１～カメラ最終ＣＨ

（カメラタイプをプリセットカメラにセットしたＣＨのみ）

・ポジション設定

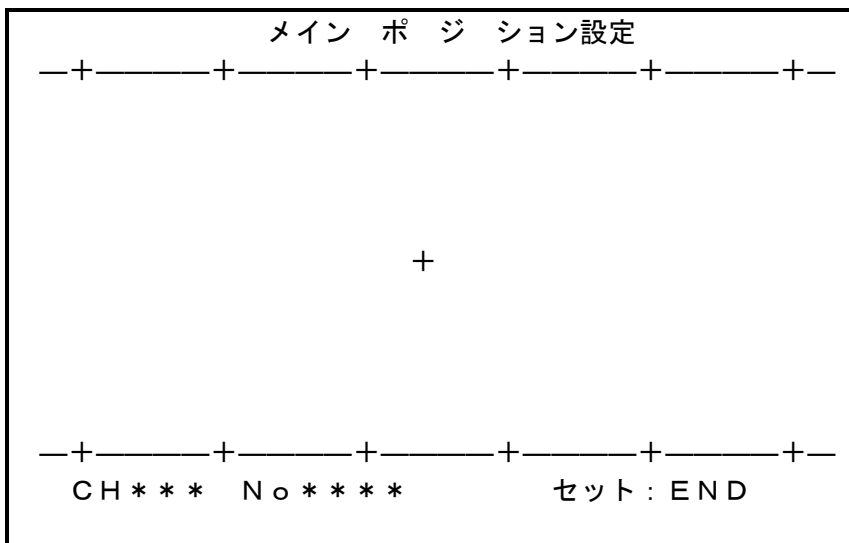
ポジション設定にカーソルが移動するとメインポジション設定／マーク設定画面に移ります。

◆　ヒント　◆

簡易追尾について

図のように建物の構造上（柱の影など）どうしても死角になってしまう場合などに､追尾の特殊な方法　として簡易追尾ができます。簡易追尾とは、パチンコ数台の死角を埋めるために、プリセットカメラをもう１セット追加するのではなく安価な固定カメラで補う追尾方法です。プリセットカメラのようにマスタモニタにその映像を映すことができます。

カメラタイプ設定で､簡易追尾したい固定カメラをプリセットカメラとして設定します。プリセットカメラだけど､ただカメラが動かないだけと思っていただければ結構です。なお、簡易追尾カメラは設定範囲内であれば台数やＣＨ順に制限がありません。

② メインポジション設定／マーク設定画面

・ポジション設定
キーボードの通常操作でカメラのポジション、ズーム、フォーカスをセットします。

ページ を押すと’マーク設定’と表示されてマーク設定モードになります。

・マーク設定
ジョイスティックでマークをセットします。

望遠、広角を押すと表示マークが以下の順に切り替わります。＜、＞を押すと反対の順に切り替わります。

＋→上矢印→右上矢印→右矢印→右下矢印
↑　　　　　　　　　　　　　　　　↓
無←下矢印←左下矢印←左矢印←左上矢印

ページ を押すとポジション設定モードに戻ります。

（２）サブプリセットポジション画面

・同様にサブポジションを設定します。
・サブプリセットポジションとは、２台のカメラで同時に同じ遊技台を自動追尾する場合やあるカメラがメインプリセットを追尾している時、同時に同じカメラに警報が入ったとき、他のカメラがサブプリセットとして替わりに追尾する場合のポジションのことを言います。

６）その他のプリセットポジション画面

（１）券売機プリセットポジション画面

①　券売機プリセットポジション画面

券売機プ　リセット　ポ　ジ　ション

プ　リセットＮｏ：０００１　－
カメラＣＨ：００１

ポ　ジ　ション設定

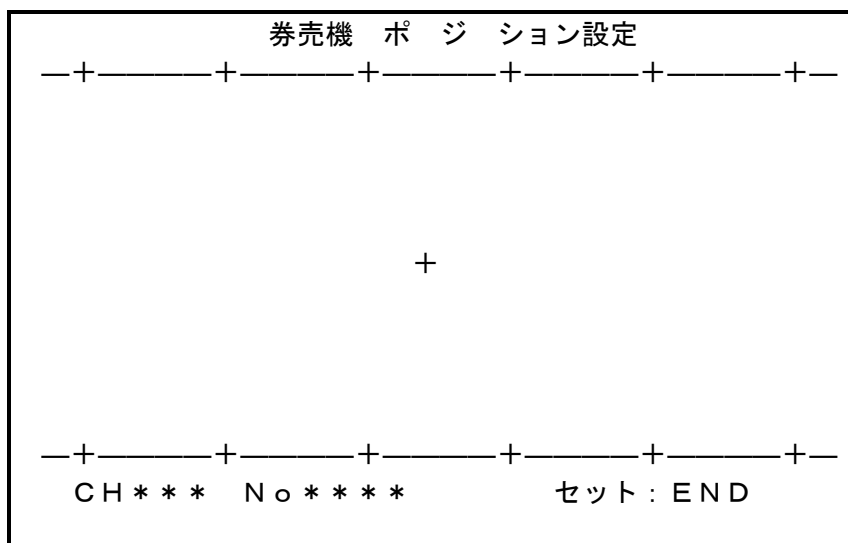
上下：設定変更
左右：カーソル移動　　　確認：次の画面

・プリセットＮｏ
　プリセットする券売機プリセットＮｏを入力します。
　　設定範囲＝０００１～０１２８（連番）
　　※プリセットされてないＮｏの横には、’－’が表示されます。

　キャンセルを押すとそのＮｏのメモリがクリアされます。

・カメラＣＨ
　プリセットするカメラＣＨをセットします。
　　設定範囲＝００１～カメラ最終ＣＨ
　　（カメラタイプをプリセットカメラにセットしたＣＨのみ）

・ポジション設定
　ポジション設定にカーソルが移動すると券売機ポジション設定／マーク設定画面に移ります。

②　券売機プリセットポジション設定／マーク設定画面

・ポジション設定

キーボードの通常操作でカメラのポジション、ズーム、フォーカスをセットします。

ページ を押すと’マーク設定’と表示されてマーク設定モードになります。

・マーク設定

ジョイスティックでマークをセットします。

望遠、広角を押すと表示マークが以下の順に切り替わります。＜、＞を押すと反対の順に切り替わります。

＋→上矢印→右上矢印→右矢印→右下矢印
↑　　　　　　　　　　　　　　　　　↓
無←下矢印←左下矢印←左矢印←左上矢印

ページ を押すとポジション設定モードに戻ります。

（２）計数機プリセットポジション画面

・同様に計数機ポジションを設定します。

（３）島金庫プリセットポジション画面

・同様に島金庫ポジションを設定します。

（４）そのたプリセットポジション画面

・同様にそのたポジションを設定します。

６）ケーブル補償設定画面

ケーブ　ル補ショウ設定

ＣＨ＊＊＊：Ｓｈｏｒｔ

上下：設定変更　　　　セット：次のＣＨ
確認：次の画面

・ケーブル補償

ケーブルの長さによる画質の劣化を補償します。
下記を目安にケーブル補償を選択します。
同軸ケーブルの太さにより距離が変わります。

	３Ｃ－２Ｖ	５Ｃ－２Ｖ	７Ｃ－２Ｖ
Ｓｈｏｒｔ　＝	０～１００ｍ	０～２００ｍ	０～４００ｍ
Ｍｉｄｄｌｅ＝	１００～２００ｍ	２００～４００ｍ	４００～８００ｍ
Ｌｏｎｇ　＝	２００～３００ｍ	４００～６００ｍ	８００～１２００ｍ

【５．３】　監　視

１）　監視状態

自動追尾の監視状態にするには　監視 を押します。

（１）キーボード　監視画面

キーボート説明文中の太文字は、すべての操作に共通して必要な内容です。

- 監視状態とは、全てのカメラの操作をしていない状態です。つまり、ホールコンピュータからの警報でカメラが自動追尾します。
- カメラＣＨを選択したり、プリセットしたままですとカメラ操作中となり、レベルの低い警報は受け付けられませんので、操作を終了した時には必ず監視状態に戻してください。
- 監視状態では、オートスイッチ画面がマスタモニタに映ります。

シ゛ト゛ウツイヒ゛　カンシ
Ｐ　：カンシモート゛（エイキ゛ョウ）

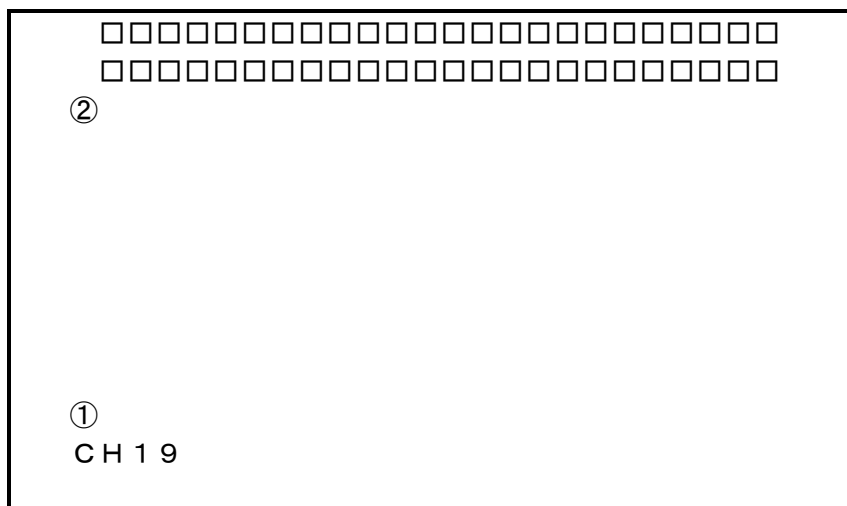
- **↑ここにＰの文字が出ている時は、ページ を押しファンクションを表示できます。**

- **この様に｜で仕切られている画面は、Ｆ・１～Ｆ・６に対応しています。**

- エイギョウ：通常の自動追尾システム
- ヤカン　　：ＥＸＴ入力設定が夜間のとき、システムコントローラの後面パネルの外部入力に信号が入ると、カメラは夜間用のホームポジションに向きます。また、夜間用リレー接点がショートします。

（２）モニタ　ホーム画面

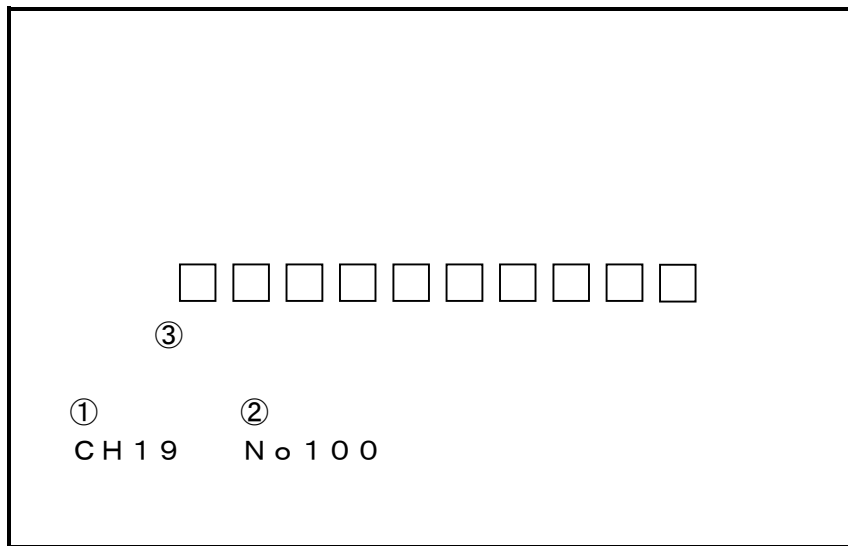
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
②

①
ＣＨ１９

①　カメラＣＨを表示
②　タイトルを表示　２４文字ｘ２行
※　２倍角表示にするためにはインポーズスイッチャのＩＤを０にして電源を入れなおし、もう一度ＩＤを元に戻して電源を入れなおします。標準サイズに戻すのも同じ操作です。

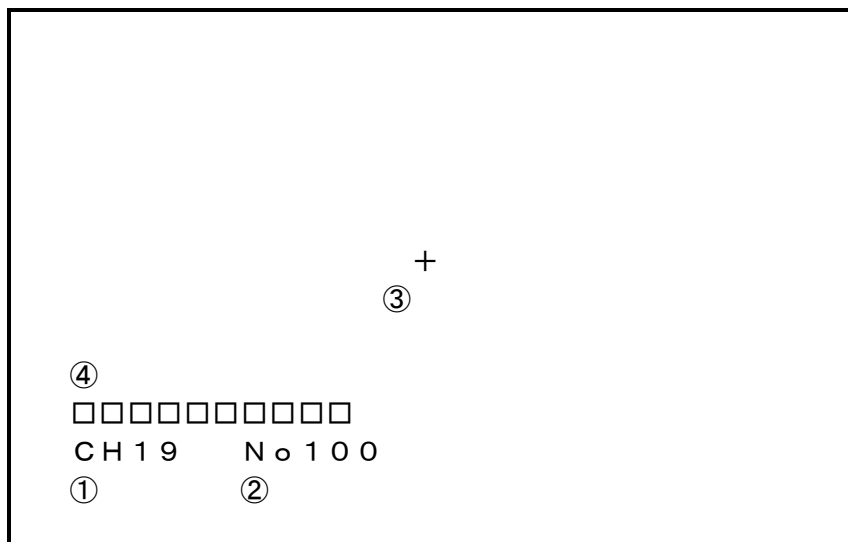
２）　警報状態

（１）警報発生画面

□□□□□□□□□□
③

①　　　　②
ＣＨ１９　　Ｎｏ１００

①　カメラＣＨを表示
②　プリセットＮｏを表示
③　警報名を２倍角で点滅表示

※警報が発生すると、この警報発生画面が５秒間表示され、その後警報が標準サイズに戻り警報画面になります。

（２）警報画面

①　カメラＣＨを表示
②　プリセットＮｏを表示
③　プリセットポイントのマーク表示
④　警報名を表示

※設定された時間が経過すると元のホーム画面に戻ります。

【５．４】　操　作

※カメラを操作するためには、まずプリセットＮｏ呼出し、またはカメラＣＨ選択を行います。
その後、そのカメラを操作することができます。

１）プリセットＮｏ呼出し

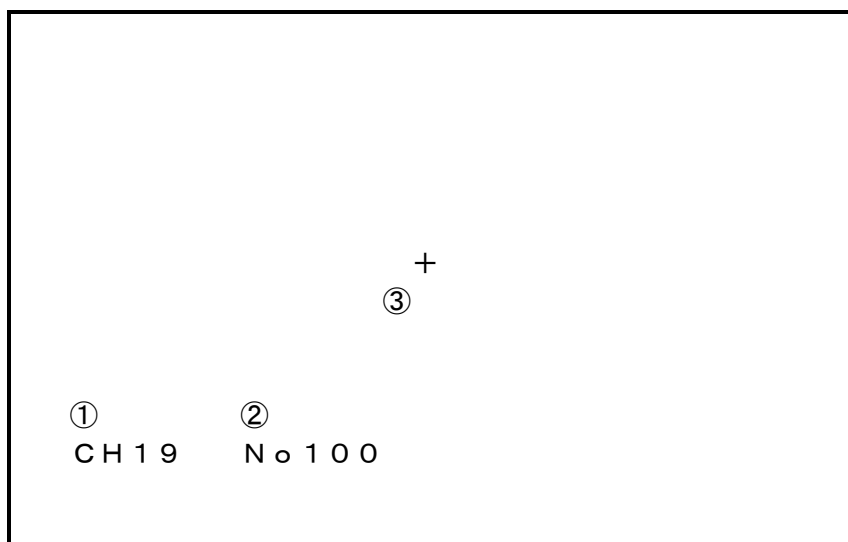
プリセットＮｏ呼出しを行うには、［番号］を押します。

（１）キーボード　プリセット番号入力画面

Ｎｏ ０ ０ ０ ０

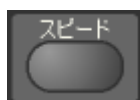
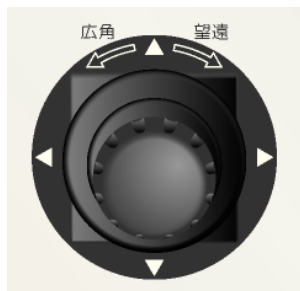
・プリセットＮｏ（番号）をセットします。
　※あらかじめプリセット登録していないと動作せず、ピピピッとブザーがなります。

・数値入力は　［１０キー］で数字を入力し［セット］を押します。

（２）モニタ　プリセットＮｏ呼出し画面

①　カメラＣＨを表示
②　プリセットＮｏを表示
③　プリセットポイントのマーク表示

（３）　カメラ操作

Ｎ ｏ ＊ ＊ ＊ ＊　　　　　　　　Ｓ Ｐ Ｄ ： オ ー ト
Ｐ １ ： マ ニ ュ ア ル 　 ソ ウ サ

・カメラが自動的に動作し、目的の画面がマスタモニタに映し出されます。
・その後、３Ｄジョイスティックでカメラを操作することができます。
・スピードを押すと、ノーマルとオートが切り替わります。呼出された時は常に、
　オートになっています。
・３Ｄジョイスティックでカメラを操作し、目的の画面に合わせます。

・ジョイスティックを倒すとカメラの向きが変わります。
倒した角度が大きいほど動作スピードが速くなります。

・つまみを回すとズームします。まわす角度が大きいほどズームスピードが速くなります。

・スピードを押すと、ＬＣＤ画面のＳＰＤ：ノーマルとオートが切り替わります。オートの場合はズームするに従いパンチルトの速度が遅くなり、モニタ画面をみながら自然な操作が行えます。

・**ページを押しファンクションを表示します。**

		リ セ ッ ト
シ ョ ウ メ イ	オ ー ト ハ ゜ ン	フ ォ ー カ ス

・**もう一度ページを押すと前画面に戻ります。**

・リセット　　：カメラがリセット動作を行い、動作原点を設定しなおします。
　　　　　　　　※通常は使用しません。
・ショウメイ　：照明機能付きカメラの場合、照明がＯＮ／ＯＦＦします。
・オートパン　：オートパン（自動首振り）動作をＯＮ／ＯＦＦします。、
　　　　　　　　※通常オートパンの使用は推奨いたしません。
・フォーカス　：１プッシュフォーカス機能がある場合に使用します。

（４）　カメラ設定

・操作しているカメラが対応している場合は、次の設定を行うことができます。

Ｎｏ＊＊＊＊　　　　　　ＳＰＤ：オート
Ｐ２：カメラ

・Ｐの右に数字がある場合は複数のページが存在することを意味しています。

・［＞］で次のページ２を表示させます。

・［ページ］を押しファンクションを表示します。

・操作画面ではファンクション画面からでも、［＜］、［＞］で直接次のページのファンクション画面に移動することができます。

フリッカレス	カント゛ＵＰ	ホワイトＢＬ
ワイト゛Ｄ	キ゛ャッコウ	オートＢ／Ｗ

①　フリッカレス（Ｆ・１）

・関東地区では電源周波数が映像の周波数と異なるため、蛍光灯などの照明では、映像がチラチラすることがあります。フリッカレスをＯＮにすると、チラチラはなくなりますが、多少モニタ画面が暗くなります。

フリッカレス	ＯＦＦ
	ＯＮ

②　自動感度アップ（Ｆ・２）

・屋外を監視している場合、夕方になると徐々に暗くなり、映像も暗くなっていきます。自動感度アップを設定すると、ある程度まわりが暗くても明るい映像になります。ただしノイズと残像が多くなります。

シ゛ト゛ウカント゛アップ゜		ＯＦＦ
Ｓ／Ｎ	ＳＴＤ	ウコ゛キ

・ＯＦＦ　　：自動感度アップＯＦＦ
・Ｓ／Ｎ　　：比較的ノイズは少ないが残像が多くなります。
・ＳＴＤ　　：Ｓ／Ｎとウゴキの中間です。
・ウゴキ　　：比較的残像は少ないがノイズが多くなります。

③　オートホワイトバランス（Ｆ・３）

・日光、蛍光灯、白熱灯などの色々な光源の色合いの中で、自動的に白いものは白く映るようにする機能です。

オートホワイトハ゛ランス		
オート１	オート２	１フ゜ッシュ

・オート１　　：標準的な設定です。
・オート２　　：カメラの種類によって特別な光源の場合に使用します。
・１プッシュ　：１プッシュオートホワイト機能がある場合に使用します。

④　ワイドダイナミックレンジ（Ｆ・４）

・屋内と屋外を同時に映すと、屋外が白けたり、屋内が暗くなったりします。ワイドダイナミックレンジを設定すると、屋内外とも自然に見えるようになります。

ワ イ ト゛ タ゛ イ ナ ミ ッ ク レ ン シ゛	｜ Ｏ Ｆ Ｆ ｜ Ｏ Ｎ

⑤　逆光補正（Ｆ・５）

・屋内と屋外を同時に映すとその明暗の割合で、屋外がはっきり見え、屋内が真っ暗になることがあります。逆光補正をかけると、屋外が白っぽくなり屋内の映像がはっきり見るようになります。

キ゛ ャ ッ コ ウ ホ セ イ	｜ Ｏ Ｆ Ｆ ｜ Ｏ Ｎ

⑥　オートＢ／Ｗ（Ｆ・６）

・オートＢ／Ｗは、照明が暗くなった場合に、自動的に白黒映像になり、感度が上がり鮮明な映像が得られます。

オ ー ト　Ｂ ／ Ｗ		
オ ー ト	｜ カ ラ ー	｜ Ｂ ／ Ｗ

・オート　　：自動的に白黒映像に切り替わります。
・カラー　　：カラー映像のまま切り替わりません。
・Ｂ／Ｗ　　：白黒映像のまま切り替わりません。

２）カメラＣＨ選択

カメラＣＨ選択を行うには、 ＣＨ を押します。

（１）　カメラＣＨ選択入力

ＣＨ０００

・カメラＣＨをセットします。
※設定以上のカメラをセットすると、ピピピッとブザーがなります。

（２）　固定カメラの選択

ＣＨ＊＊＊　　　　　　　コテイカメラ

・選択されたカメラ種別が固定カメラの場合は、その映像はマスタモニタに映し出されますが、操作することはできません。

（３）　マニュアルカメラの選択

・マニュアルカメラとは、ズームパンチルトコントローラ（ＺＰＣ）からパンチルト、電動ズームレンズ、ワイパ、照明などを手動制御できるカメラのことです。

ＣＨ＊＊＊　　　　　　レンズ゛ ＳＰＤ：Ｈ
Ｐ　：マニュアル　ソウサ

・３Ｄジョイスティックでカメラを操作することができます。
※ただし、パンチルトのスピード制御はできません。

・ワイパ機能のあるカメラは、ワイパを１回押すと約５秒間ワイパが動作します。

・フォーカス機能がある場合 遠 、 近 を押し、手動でフォーカスを合わせることができます。

・レンズスピードを制御する場合操作します。Ｈ→Ｌ→Ｍの順に切り替わります。Ｈは速く、Ｌは遅く、Mは中間で動作します。

・ページを押しファンクションを表示します。

Ｆ１	Ｆ２	
ショウメイ	オートパ゜ン	

・Ｆ・１　　：ＺＰＣのＦ・１の動作のＯＮ／ＯＦＦを行います。
・Ｆ・２　　：ＺＰＣのＦ・２の動作のＯＮ／ＯＦＦを行います。
・ショウメイ　：照明がある場合に、照明のＯＮ／ＯＦＦを行います。
・オートパン　：オートパン動作のＯＮ／ＯＦＦを行います。

（４）　プリセットカメラの選択

ＣＨ＊＊＊　　　　　　　　ＳＰＤ：オート
Ｐ１：マニュアル　ソウサ

・３Ｄジョイスティックでカメラを操作することができます。

・ワイパ機能のあるカメラは、ワイパを１回押すと約５秒間ワイパが動作します。

・オートフォーカスレンズが装備されている場合、白い壁やブラインドなど、縦線や濃淡がない画面ではフォーカスが合わない場合があります。そのとき 遠 、 近 を押し、手動でフォーカスを合わせることができます。

・スピードを押すと、ＬＣＤ画面のＳＰＤ：ノーマルとオートが切り替わります。オートの場合はズームするに従いパンチルトの速度が遅くなり、モニタ画面をみながら自然な操作が行えます。

・ページを押しファンクションを表示します。

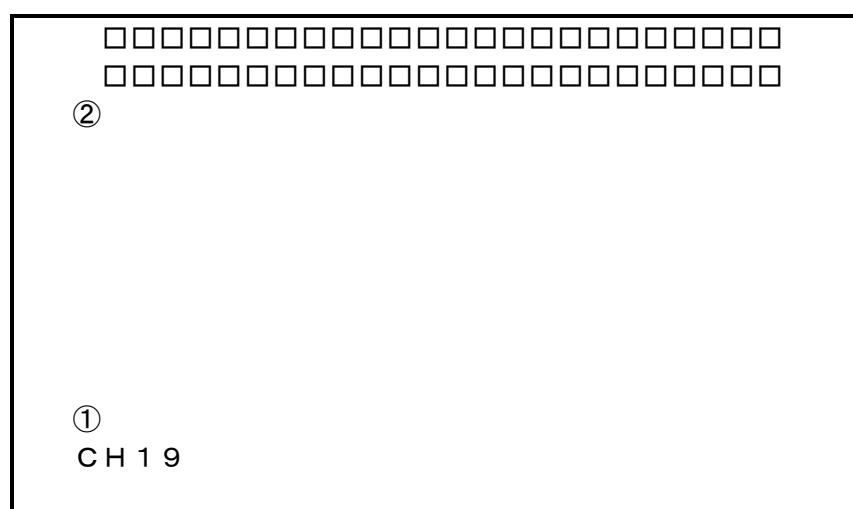
		リセット
ショウメイ	オートパ゜ン	フォーカス

・リセット　　：カメラがリセット動作を行い、動作原点を設定しなおします。
　　　　　　　　※通常は使用しません。
・ショウメイ　：照明機能付きカメラの場合、照明がＯＮ／ＯＦＦします。
・オートパン　：オートパン（自動首振り）動作をＯＮ／ＯＦＦします。、
　　　　　　　　<u>※通常オートパンの使用は推奨いたしません。</u>
・フォーカス　：１プッシュフォーカス機能がある場合に使用します。

（５）モニタ　カメラＣＨ選択画面

```
    □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
    □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
  ②



  ①
  ＣＨ１９
```

①　カメラＣＨを表示
②　タイトルを表示　２４文字ｘ２行

３）機能モード（デジタルレコーダの操作）

デジタルレコーダの操作を行うには、［モード］を押します。

デジタルレコーダ（ＳＤＲ－３０１／３０４）の操作ボタンの制御が行えます。

（１）　デジタルレコーダのＩＤ入力

Ｄｒ：ＩＤ０<u>０</u>
Ｐ１：ロクカ゛／ロック

・使用したいデジタルレコーダのＩＤをセットします。

（２）　デジタルレコーダの操作

・［ページ］を押しファンクションを表示します。

フ゜リアラーム	ロクカ゛	ロック
タイマー	テイシ	ロックオフ

・それぞれのファンクションがデジタルレコーダの前面パネルのボタンに対応しています。

・［ページ］と［＜］［＞］でページ（ファンクション画面）を切り替えてデジタルレコーダの操作を行います。カーソル移動はジョイスティックを使用します。
それぞれの機能／動作についてはデジタルレコーダの取扱説明書をご参照ください。

Ｄｒ：ＩＤ＊＊
Ｐ２：ケンサク／セッテイ

ケンサク	ケッテイ	モト゛ル
セッテイ		

Ｄｒ：ＩＤ＊＊
Ｐ３：ヒョウシ゛

ＣＨ１	ＣＨ２	オート
ＣＨ３	ＣＨ４	フ゛ンカツ

Ｄｒ：ＩＤ＊＊
Ｐ４：サイセイ

リハ゛ース	ホ゜ース゛	サイセイ
ハヤモト゛シ	テイシ	ハヤオクリ

４）他局操作とロック

（１）　他局操作

・キーボードの操作権は基本的に後優先です。複数のキーボードを同時に使用した場合、それぞれ別のカメラを操作しているときは問題ありませんが、同じカメラを操作しようとした場合、後から操作したキーボードに操作権があります。
※前優先だと、操作終了後に 監視 を押し忘れた場合、いつまでたっても、そのカメラを操作することができなくなってしまいます。
・もし、使用中に他局（他のキーボード）から操作権を奪われた場合は、ＬＣＤ画面に次のメッセージが表示されます。

Ｎｏ＊＊＊＊
タキョクソウサ！　［セット］サイソウサ

・この場合、カメラ操作はできなくなります。
・このままの状態でもう一度セットを押すと、再び操作権を得ることができます。
・新たに、他のカメラを選択し、操作することは可能です。

・他局が 監視 を押して操作をやめた時、自局も監視画面に戻ります。

（２）　ロック

ロックを行うには、 ロック を押します。

・どうしても操作権を奪われたくない場合には操作権をロックすることができます。

Ｎｏ＊＊＊＊［ロック］　ＳＰＤ：オート
Ｐ１：マニュアル　ソウサ

・ＬＣＤ画面上に［ロック］と表示されます。
・カメラ操作はそのまま行うことができます。

（３）　ロックされているカメラを操作しようとした場合

・もし、他局がロック中のカメラを操作しようとした場合は、ＬＣＤ画面に次のメッセージが表示されます。

Ｎｏ＊＊＊＊
タキョク　ロックチュウ

・ロック中新たに、他のカメラを選択し、操作することは可能です。

・強制的にロックを解除するためには、シフト＋ロックを押します。

※すべてのＣＨのロックが解除され、カメラを操作することができるようになります。

・他局が 監視 を押して操作をやめた時、自局も監視画面に戻ります。

６．キーボード画面遷移

起動画面
ＩＫＥＧＡＭＩ　ＰＣＳシステム
＊ショキカチュウ　Ｖｅｒ　１．００
3秒後、自動的に
監視画面
シ゛ト゛ウツイヒ゛　カンシ
Ｐ　：カンシモート゛（エイキ゛ョウ）
エイキ゛ョウ｜ヤカン｜
プリセット番号呼出し画面
Ｎｏ００００
Ｐ　：エリア　（メイン）
F･*で0リセットで戻り
メイン｜サフ゛｜ケンハ゛イキ
ケイスウキ｜シマキンコ｜ソノタ
Ｎｏ＊＊＊＊　ＳＰＤ：オート
Ｐ１：マニュアル　ソウサ（シマキンコ）
ショウメイ｜オートハ゜ン｜リセット　フォーカス
ｏ＊＊＊＊　ＳＰＤ：オート
Ｐ２：カメラ（シマキンコ）
フリッカレス｜カント゛ＵＰ｜ホワイトＢＬ
ワイト゛Ｄ｜キ゛ャッコウ｜オートＢ／Ｗ
フリッカレス　ＯＦＦ　ＯＮ
シ゛ト゛ウカント゛アップ゜　ＯＦＦ
Ｓ／Ｎ｜ＳＴＤ｜ウコ゛キ
オートホワイトハ゛ランス
オート１｜オート２｜１フ゜ッシュ
ワイト゛　ＯＦＦ
タ゛イナミックレンシ゛　ＯＮ
キ゛ャッコウホセイ　ＯＦＦ　ＯＮ
オート　Ｂ／Ｗ
オート｜カラー｜Ｂ／Ｗ
カメラCH選択画面
10KEY,C,ｾｯﾄ
ＣＨ０００
固定設定の場合
ＣＨ＊＊＊　コテイカメラ
マニュアル設定の場合
ＣＨ＊＊＊　レンス゛ＳＰＤ：Ｈ
Ｐ　：マニュアル　ソウサ
Ｆ１｜Ｆ２
ショウメイ｜オートハ゜ン
ﾌﾟﾘｾｯﾄ設定の場合
ＣＨ＊＊＊　ＳＰＤ：オート
Ｐ１：マニュアル　ソウサ
ＣＨ＊＊＊　ＳＰＤ：オート
Ｐ２：カメラ

機能モード画面
10KEY,C,セット
モード
監視,CH,番号,モード
Ｄｒ：ＩＤ００
Ｐ１：ロクガ゛／ロック
キャンセル
ページ
フ゜リアラーム　タイマー
ロクガ゛　テイシ
ロック　ロックオフ
<>
Ｄｒ：ＩＤ＊＊
Ｐ２：ケンサク／セッテイ
ケンサク　セッテイ
ケッテイ
モト゛ル
Ｄｒ：ＩＤ＊＊
Ｐ３：ヒョウシ゛
ＣＨ１　ＣＨ３
ＣＨ２　ＣＨ４
オート　フ゛ンカツ
Ｄｒ：ＩＤ＊＊
Ｐ４：サイセイ
リハ゛ース　ハヤモト゛シ
ホ゜ース゛　テイシ
サイセイ　ハヤオクリ
他局画面
他局ロック
他局ロック解除
ＣＨ＊＊＊
タキョク　ロックチュウ
カメラ操作画面へ
Ｎｏ＊＊＊＊
タキョク　ロックチュウ
プリセット画面へ
他局操作
監視,CH,番号,モード,セット
ＣＨ＊＊＊
タキョクソウサ！　［セット］サイソウサ
Ｎｏ＊＊＊＊
タキョクソウサ！　［セット］サイソウサ
他局セットアップ
他局セットアップ終了
タキョク　セットアップ゜チュウ
シュウリョウマテ゛ソウサテ゛キマセン！
セットアップ画面
シフト+セット+番号
ＫＢ－ＩＤ：００
［カクニン］メモリ　［キャンセル］シナイ
キャンセル
確認
確認、キャンセル
モニタＮＯ：００
［カクニン］メモリ　［キャンセル］シナイ
シフト+セット+モード
監視
ＰＣＳシステム　セットアップ゜
［カンシ］モト゛ル

７．　トラブルシューーティング

> **設定を原因とするトラブルシューティングです。**
>
> ・**機器配線やコネクタの端末処理は正常といたします。**
> ・全ての機器の電源はＯＮしているものとします。
> ・※は確認方法，調整方法，作業方法です。
> ・修復時は電源を切って作業してください。
> ・ここで使用する”カメラの動作”という表現はパンチルトやレンズの動作のことです。

（1）モニタ画面上の異常

Ｑ：特定のカメラの映像が明るいまたは暗い、色がおかしい。
・ケーブル補償設定が間違っている。()
・カメラタイプ設定が間違っている。()
・カメラ設定が異常。()

Ｑ：モニタに画面が出ない
・使用以上のカメラ台数を設定している。()
・インポーズスイッチャのＩＤが間違っている。()

Ｑ：モニタ画面の映像切替が異常
・インポーズスイッチャのＩＤが間違っている。()
・キーボードのＩＤ設定が間違っている。()
・キーボードのモニタＮｏ設定が間違っている。()
・カメラ台数設定が実際使用するカメラ数より少ない。（Ｐ）

Ｑ：モニタ画面にスーパーが出ない、横２倍になっている。
・スーパーインポーズＯＦＦになっている。()
・インポーズスイッチャが２倍角設定になっている。()

（２）カメラ操作／動作時に異常

Ｑ：カメラが動作しない、別のカメラが動作をする。
・インポーズスイッチャのＩＤが間違っている。()
・カメラタイプ設定が間違っている。()
・ズームパンチルトコントローラのＩＤが間違っている。()

Ｑ：自動追尾、プリセットが動作しない。
・インポーズスイッチャのＩＤが間違っている。()
・プリセットを登録していない。()
・ホールコンピュータＮｏが間違っている（）

（３）デジタルレコーダの操作時に異常

Ｑ：操作ができない。
・デジタルレコーダのＩＤが間違っている。()

８．仕　　様

（１）キーボード（ＰＣＳ－３５ＫＢ）

1.通信	I-LAN　：D-SUB9 ﾒｽ RS-485 ｱｻｲﾝ ①＋ ⑤GND ⑨－ その他 NC RS-232C(ﾊﾞｰｼﾞｮﾝｱｯﾌﾟ I/F 兼用)　：D-SUB9 ｵｽ RS-232C DCE ｱｻｲﾝ ①NC ②T ③R ⑤GND ④-⑥ｼｮｰﾄ ⑦-⑧ｼｮｰﾄ ⑨NC
2.ジョイスティック	3D タイプ 動かす角度によりスピード制御 （ﾊﾟﾝﾁﾙﾄ：15 段階、ｽﾞｰﾑ：3 段階）
3.操作ボタン	メンブレンスイッチ
4.表示部	バックライト付ＬＣＤ（２０文字×２行）
5.使用温度	０℃～４０℃
6.保存温度	－１０℃～６０℃
7.電源	ＡＣ１００Ｖ±１０％　５０／６０Ｈｚ
8.消費電力	４．５Ｗ以下
9.外形寸法(W×H×D)	２９０×１２０×２１０ｍｍ
10.質量	約２．５Ｋｇ
11. 付属品	I-LAN　通信ケーブル　：D-SUB9 ｵｽ ｽﾄﾚｰﾄ　５ｍ

（２）システムコントローラ（ＰＣＳ－３５ＳＣ）

1.通信	キーボード　：Dsub9P ﾒｽ I-LAN (RS-485) ｱｻｲﾝ ①＋ ⑤GND ⑨－ その他 NC EXT　：Dsub9P ｵｽ RS-232C DCE ホールコン　：Dsub9P ｵｽ RS-232C DCE バージョンアップ I/F　：Dsub9P ｵｽ RS-232C DCE (前面) ｱｻｲﾝ ①NC ②T ③R ⑤GND ④-⑥ｼｮｰﾄ ⑦-⑧ｼｮｰﾄ ⑨NC I-LAN　：BNC ｺﾈｸﾀ　I-LAN (RS-485)
2.対応カメラ台数	最大２４０台
3.プリセット数	ホーム／夜間　：各２４０ メイン／サブ　：各２０４７ 島金庫／計数器　：各１２８ 券売機／その他　：各１２８
4.外部入力	１ａまたは１ｂ　：端子台 無電圧接点入力　DC5V 20KΩﾌﾟﾙｱｯﾌﾟ
5.アラーム出力	１ａ　：端子台 オープンコレクタ MAX DC24V 5mA
6.リレー出力	２回路　：端子台 MAX DC24V 0.5A
7.使用温度	－１０℃～５０℃
8.保存温度	－２０℃～６０℃
9.電源	ＡＣ１００Ｖ±１０％　５０／６０Ｈｚ
10.消費電力	５Ｗ以下
11.外形寸法(W×H×D)	４３０×４４×３５０ｍｍ
12.質量	約６．０Ｋｇ

（３）インポーズスイッチャ（ＰＣＳ－３５ＩＳ）

1.通信入力　I-LAN (RS-485) 9600bps 8bit NONE STOP1　：ＢＮＣ
2.映像入力　カメラ　１６ＣＨ　７５Ω　不平衡　：ＢＮＣ
　ＥＸＴ　２ＣＨ　７５Ω　不平衡　：ＢＮＣ
3.映像出力　スイッチング２ＣＨ　７５Ω　不平衡　：ＢＮＣ
　各カメラ　２ＣＨ×１６　７５Ω　不平衡　：ＢＮＣ
4.周波数特性　１０ＭＨｚ±３ｄｂ
5.ｹｰﾌﾞﾙ補償　各ＣＨごとに３段階ｹｰﾌﾞﾙ補償（通信コマンドによる切替）

	S	M	L
3C-2V	～100m	～200m	～300m
5C-2V	～200m	～400m	～600m
7C-2V	～400m	～800m	～1.2Km

6.文字　カメラＣＨ、タイトル２４文字×２行
　12×18 ドット 数字、アルファベット、カナ、一部漢字
7.使用温度　－１０℃～５０℃
8.保存温度　－２０℃～６０℃
9.電源　ＡＣ１００Ｖ±１０％　５０／６０Ｈｚ
10.消費電力　１３Ｗ以下
11.外形寸法(W×H×D)　４３０×８８×３５０ｍｍ
12.質量　約８．０Ｋｇ

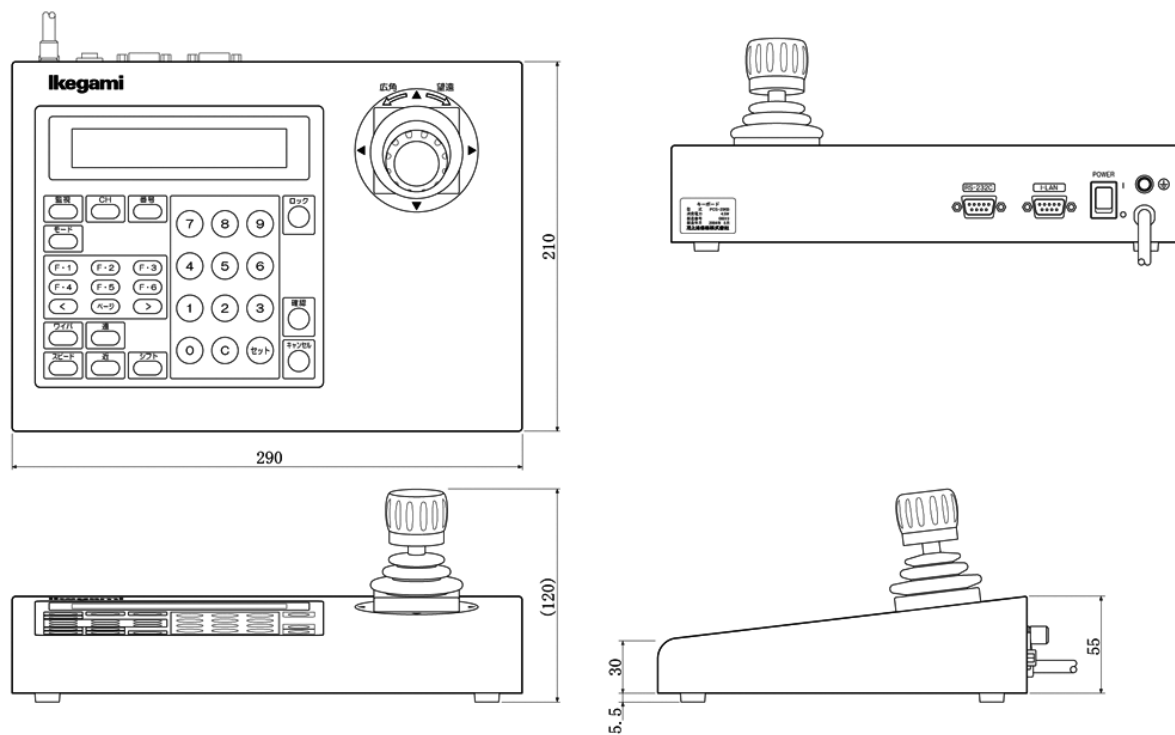
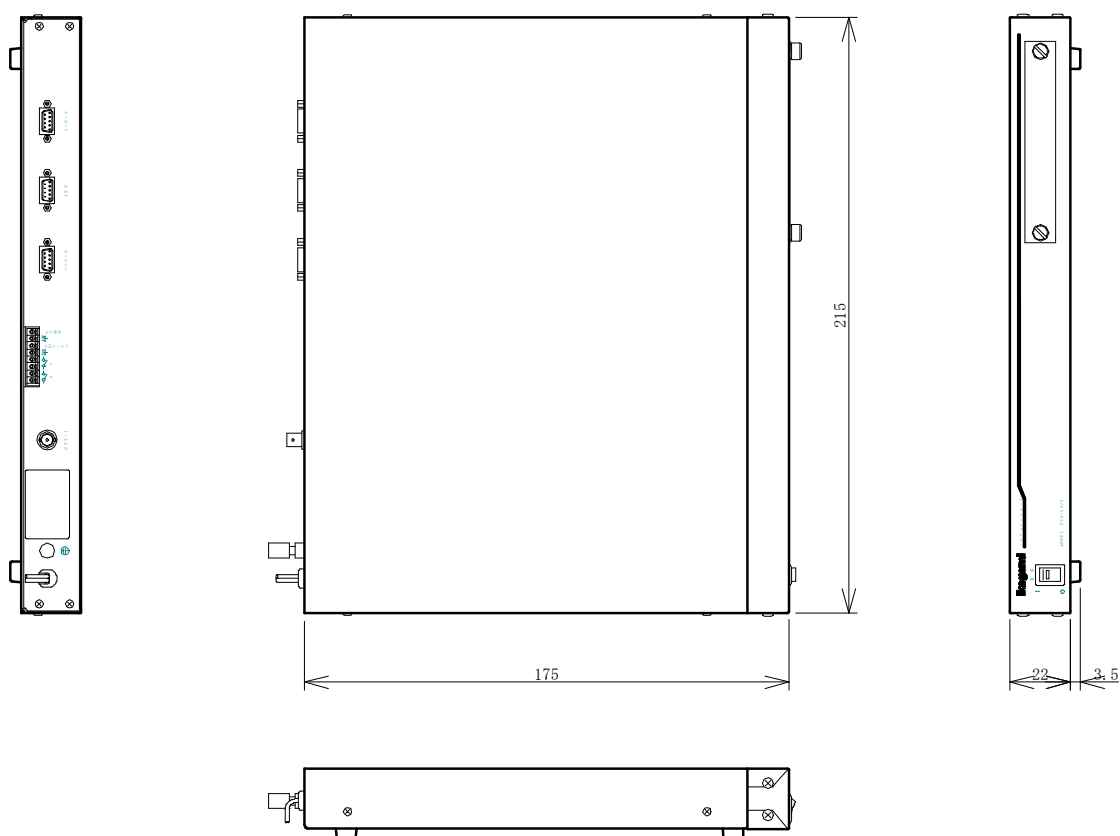
（４）パワーボックス（ＰＣＳ－３５ＰＢ）

1.電源供給カメラ台数　１６台（１ブロック８台×２）
2.電源電圧　ＤＣ２４Ｖ
3.適用配線材　単線φ０．４～φ１．２（ＡＷＧ２６～１６）
　撚線０．３～１．２５㎜²（ＡＷＧ２２～１６）
4.配線距離　２００ｍ　ＭＡＸ　（ケーブルは１．２５□）
　３００ｍ　ＭＡＸ　（ケーブルは２□）
　６００ｍ　ＭＡＸ　（ケーブルは３．５□）
5.使用温度　－１０℃～５０℃
6.保存温度　－２０℃～６０℃
7.電源　ＡＣ１００Ｖ±１０％　５０／６０Ｈｚ
8.消費電力　８Ｗ以下（カメラ含まず）
9.外形寸法(W×H×D)　４３０×８８×３００ｍｍ
10.質量　約７．５Ｋｇ

９．保証とアフターサービス

- 保証期間は、お買い上げ日より１年間です。（ただし消耗品は除く）保証書の記載内容よりお買い上げの販売店が修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店または営業マンにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有償修理いたします。
- 修理をご依頼の時は、お手数でももう一度取扱説明書をよくお読みになり、再度お確かめの上、型名、ご購入日、故障状況などをできるだけ詳しくお知らせください。
- その他のアフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店または営業マンにご相談ください。

１０．外　観　図

（１）キーボード（ＰＣＳ－３５ＫＢ）

（２）システムコントローラ（ＰＣＳ－３５ＳＣ）

（３）インポーズスイッチャ（ＰＣＳ－３５ＩＳ）

（４）パワーボックス（ＰＣＳ－３５ＰＢ）